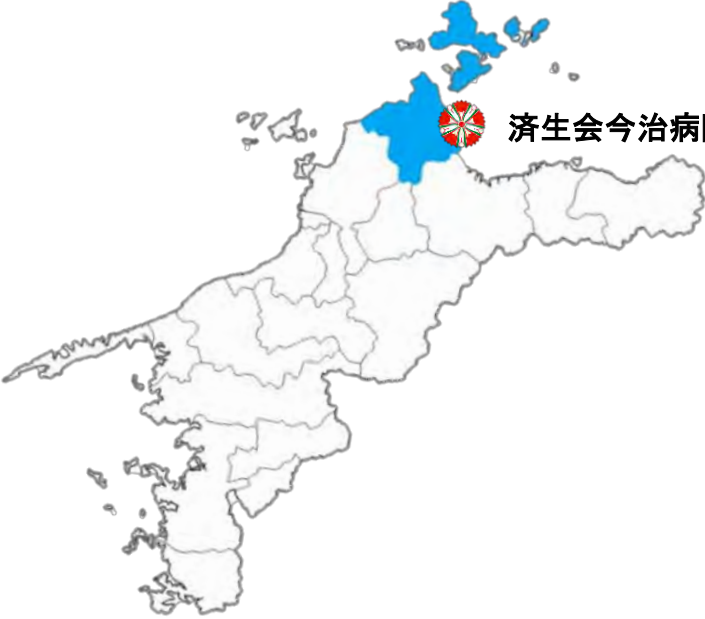


医療機関名	 社会福祉法人 恩賜財団 済生会今治病院
-------	---

施設基本情報

所在地	今治市喜田村7丁目1番6号
病床数	191床 (HCU:11床 一般:123床 地域包括ケア:37床 緩和ケア:20床)
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
データ収集期間	2019.01.01～2019.12.31 (2019年診断症例)
平均在院日数	16.7日
入院患者のべ数	67,504人
外来患者のべ数	165,749人
院内がん登録件数	844件
院内がん登録件数 上位3部位 (症例区分80を除く)	大腸:160件 胃:127件 肺:117件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者1名、中級者1名 (2020年1月現在)
診療科	内科 循環器内科 消化器内科 外科 心臓血管外科 消化器外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 小児科 皮膚科 泌尿器科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科 麻酔科 【標榜診療科 16科】 (2020年1月現在)

	担当医療圏: 今治圏域
	担当医療圏における患者住所の割合:
	88.0%
	県内担当医療圏外の割合:
	11.2%
	県外患者住所の割合:
	0.8%

済生会今治病院は、今治圏域のがん診療連携拠点病院として放射線治療や緩和ケア病棟などがん治療に対する診療体制を整備してきました。その結果、がんに関わる医師数の増減により若干の変動がみられますが、2015年から過去5年間の登録数に大きな変化はありません。また、診断や初回治療の件数も同数で推移していることから、がんの診療体制を維持できていることが院内がん登録から推測できます。

当院の特徴は、サイバーナイフ・リニアックによる放射線治療、地元での診療希望、緩和ケア病棟でのケアなど、他施設からの継続治療や治療の一部を担うことです。さらに2020年からは肺癌の診療が充実し、今までは呼吸器外科による手術中心の治療でしたが、放射線治療医と呼吸器内科医の着任によりがんの診断と外科治療・薬物療法・放射線治療の3つの治療体制が整い、今治でも診療が完結するようになりました。

今治医療圏では2030年まで75歳以上は増加することが予測されています。高齢化により通院困難、積極的治療困難症例などが増加すると考えられます。そのような症例も患者さんとその家族が安心して療養できるように、治療場所や治療方法などは医療スタッフが、経済面・就業、退院後の療養先など生活については専門の相談員が無料低額診療事業などを利用し対応しています。

がん治療は日々進歩しています。適切ながん治療を提供し、地域でも理想の治療を受けられるよう、分け隔てなくあらゆる人々に医療福祉の手をさしのべる「済生の精神」に基づいて今治の医療を支えます。

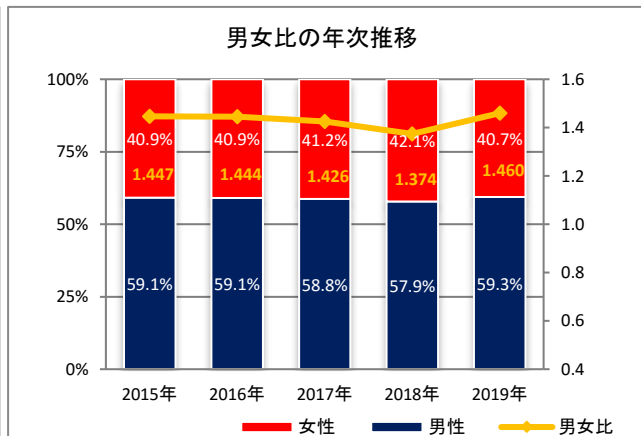
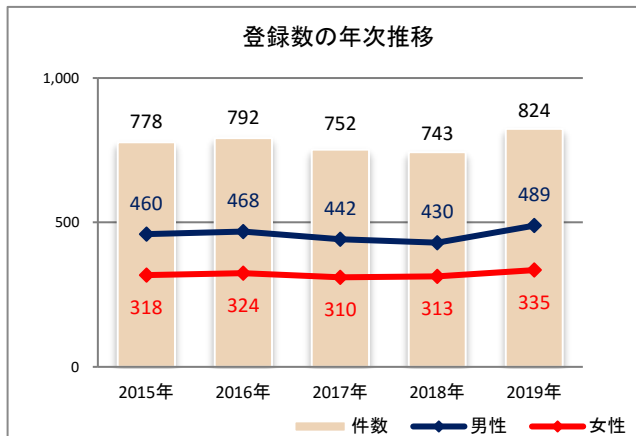
済生会今治病院 院長 松野 剛

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
【症例区分8,80を含む】	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
全体	785	803	756	753	844
男性	464 (59.1%)	476 (59.3%)	444 (58.7%)	436 (57.9%)	500 (59.2%)
女性	321 (40.9%)	327 (40.7%)	312 (41.3%)	317 (42.1%)	344 (40.8%)
全体	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
男性	460 (59.1%)	468 (59.1%)	442 (58.8%)	430 (57.9%)	489 (59.3%)
女性	318 (40.9%)	313 (40.9%)	310 (41.2%)	313 (42.1%)	335 (40.7%)
男女比	1.447	1.444	1.426	1.374	1.460

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



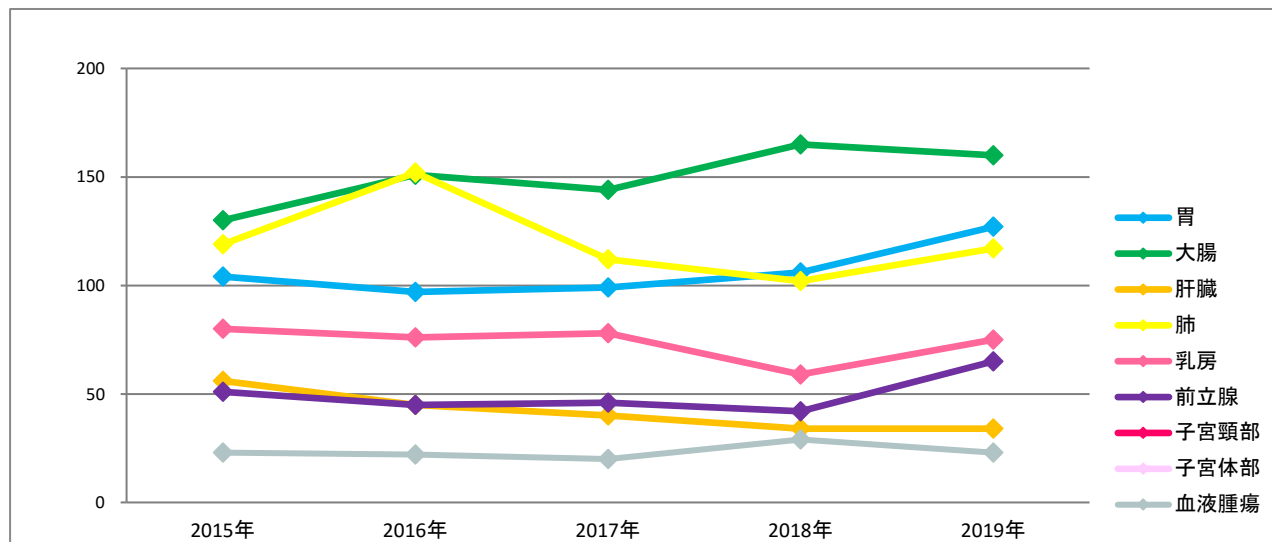
1-2. 登録数の年次推移(部位別)

診断年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
口腔・咽頭	(4~6) --	(4~6) --	(4~6) --	(4~6) --	(1~3) --
食道	17 (2.2%)	13 (1.6%)	16 (2.1%)	18 (2.4%)	19 (2.3%)
胃	104 (13.4%)	97 (12.2%)	99 (13.2%)	106 (14.3%)	127 (15.4%)
結腸	84 (10.8%)	99 (12.5%)	91 (12.1%)	110 (14.8%)	108 (13.1%)
直腸	46 (5.9%)	52 (6.6%)	53 (7.0%)	55 (7.4%)	52 (6.3%)
肝臓	56 (7.2%)	45 (5.7%)	40 (5.3%)	34 (4.6%)	34 (4.1%)
胆嚢・胆管	18 (2.3%)	14 (1.8%)	19 (2.5%)	20 (2.7%)	21 (2.5%)
膵臓	34 (4.4%)	38 (4.8%)	40 (5.3%)	43 (5.8%)	45 (5.5%)
喉頭	(1~3) --	0 --	(1~3) --	0 --	0 --
肺	119 (15.3%)	152 (19.2%)	112 (14.9%)	102 (13.7%)	117 (14.2%)
骨・軟部	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --
皮膚(黒色腫を含む)	22 (2.8%)	24 (3.0%)	26 (3.5%)	29 (3.9%)	25 (3.0%)
乳房	80 (10.3%)	76 (9.6%)	78 (10.4%)	59 (7.9%)	75 (9.1%)
子宮頸部	(1~3) --	(1~3) --	0 --	(1~3) --	(1~3) --
子宮体部	(4~6) --	(4~6) --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --
子宮	0 --	0 --	0 --	0 --	(1~3) --
卵巣	(4~6) --	(1~3) --	(1~3) --	(4~6) --	(1~3) --
前立腺	51 (6.6%)	45 (5.7%)	46 (6.1%)	42 (5.7%)	65 (7.9%)
膀胱	11 (1.4%)	28 (3.5%)	17 (2.3%)	18 (2.4%)	22 (2.7%)
腎・他の尿路	20 (2.6%)	16 (2.0%)	14 (1.9%)	12 (1.6%)	13 (1.6%)
脳・中枢神経系	41 (5.3%)	25 (3.2%)	40 (5.3%)	25 (3.4%)	37 (4.5%)
甲状腺	(7~9) --	12 (1.5%)	16 (2.1%)	10 (1.3%)	(1~3) --
悪性リンパ腫	21 (2.7%)	16 (2.0%)	16 (2.1%)	22 (3.0%)	15 (1.8%)
多発性骨髄腫	(1~3) --	(4~6) --	0 --	(1~3) --	(1~3) --
白血病	0 --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --
他の造血器腫瘍	(1~3) --	0 --	(1~3) --	(1~3) --	(4~6) --
その他	23 (3.0%)	19 (2.4%)	13 (1.7%)	17 (2.3%)	26 (3.2%)
合計	778	792	752	743	824

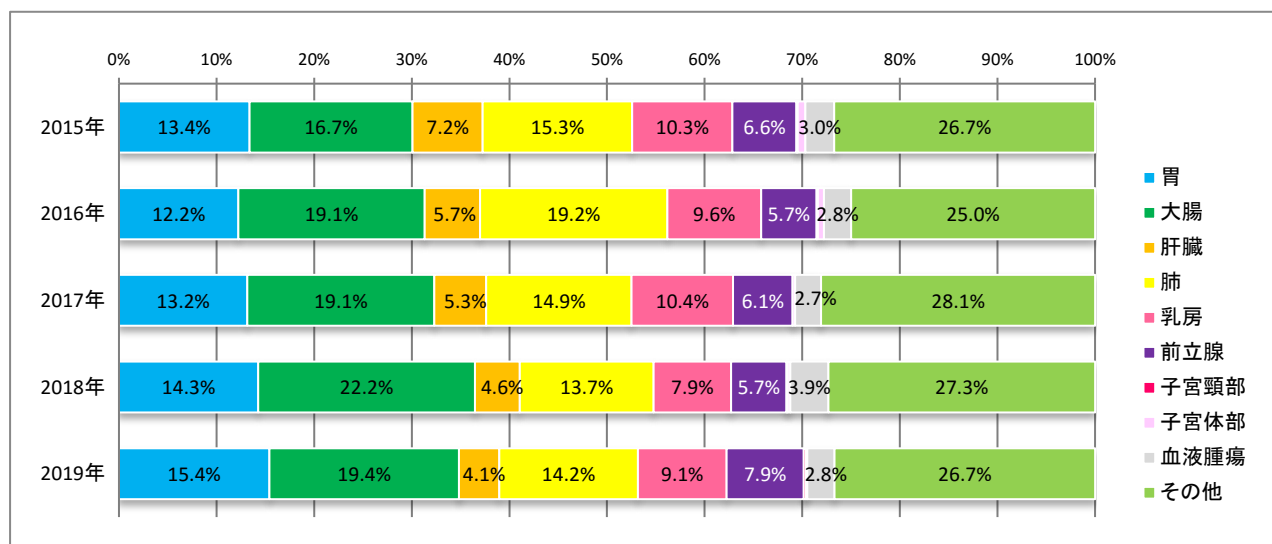
*説明ポイント① 2019年は登録数が824件、2015年より大きな増減はありません。

*説明ポイント② 大腸 胃 肺 乳房 前立腺 膵臓 は2016年より登録数が多い上位6部位です。

1-3. 部位別登録数の推移

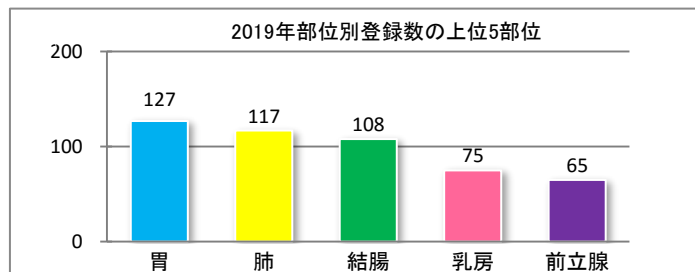


1-4. 登録数の部位別の割合



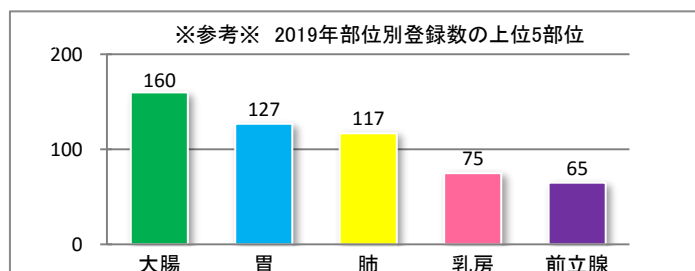
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2018年		2019年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	結腸	110	胃	127
2	胃	106	肺	117
3	肺	102	結腸	108
4	乳房	59	乳房	75
5	直腸	55	前立腺	65



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2018年		2019年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	大腸	165	大腸	160
2	胃	106	胃	127
3	肺	102	肺	117
4	乳房	59	乳房	75
5	膀胱	43	前立腺	65

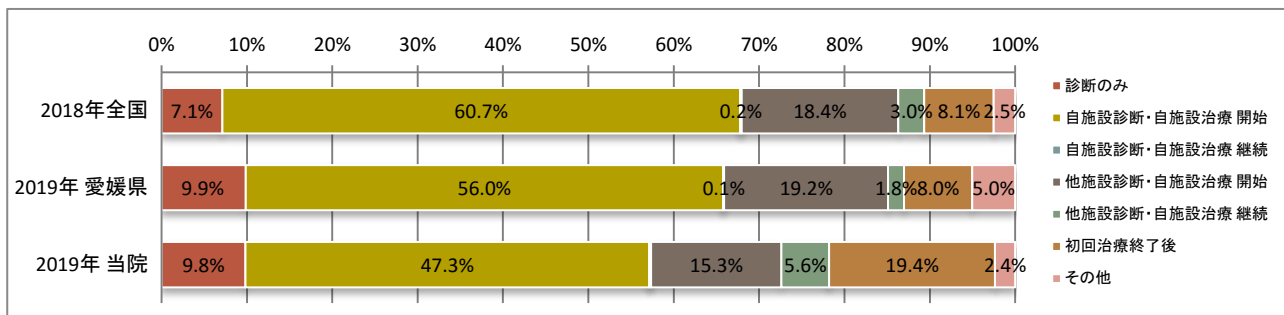


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

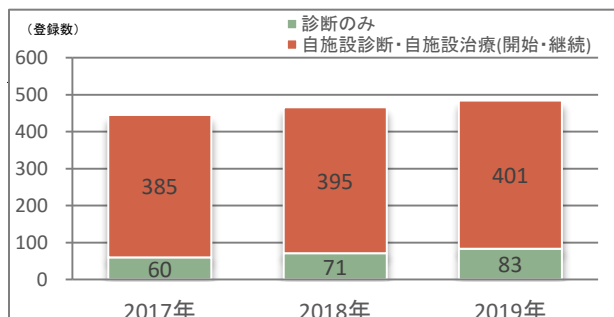
	2017年		2018年		2019年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	60	(7.9%)	71	(9.4%)	83	(9.8%)
自施設診断・自施設治療 開始	385	(50.9%)	395	(52.5%)	399	(47.3%)
自施設診断・自施設治療 継続	0	--	0	--	(1~3)	--
他施設診断・自施設治療 開始	118	(15.6%)	126	(16.7%)	129	(15.3%)
他施設診断・自施設治療 継続	39	(5.2%)	29	(3.9%)	47	(5.6%)
初回治療終了後	150	(19.8%)	122	(16.2%)	164	(19.4%)
その他	(4~6)	--	10	(1.3%)	20	(2.4%)

2-2. 症例区分 愛媛県全体との比較(症例区分80を含む)



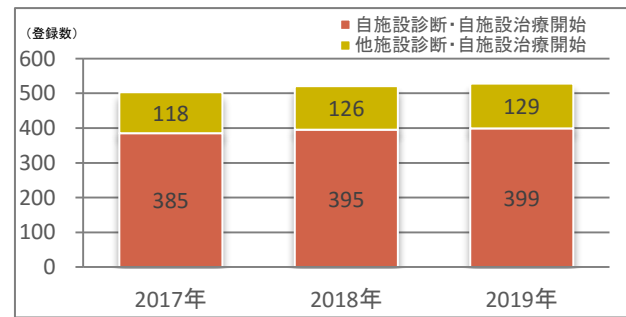
2-3. 自施設でがんを診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



2-5. 2019年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

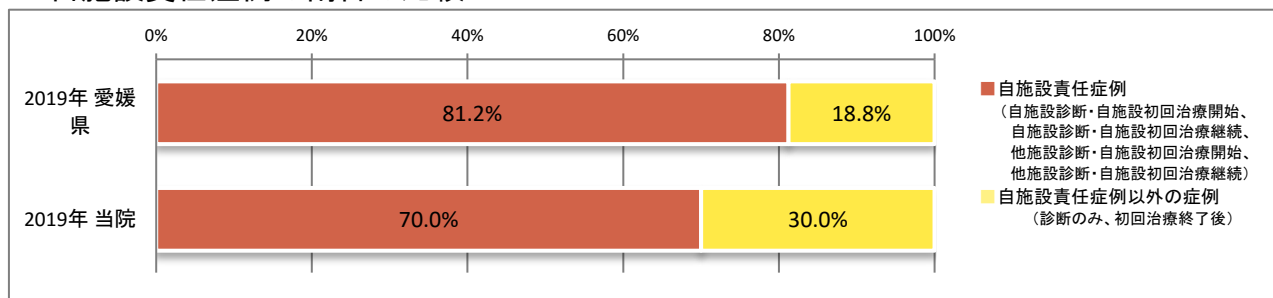
診断施設 治療施設	自施設診断 (当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)	他施設診断 (当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例)
	自施設で初回治療せず	自施設で初回治療開始
自施設で初回治療せず	<診断のみ> 83	<その他> 15
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始> 399	<他施設診断・自施設治療開始> 129
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続> (1~3)	<他施設診断・自施設治療継続> 47
初回治療終了後	<初回治療終了後> 0	<初回治療終了後、その他> 169
その他	<その他> 0	<その他> 0

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ がんを診断した症例や自施設初回治療開始症例は、2017年より登録数がほぼ同じです。

*説明ポイント④ 自施設にて治療を開始する症例割合は愛媛県と比較すると低い。

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

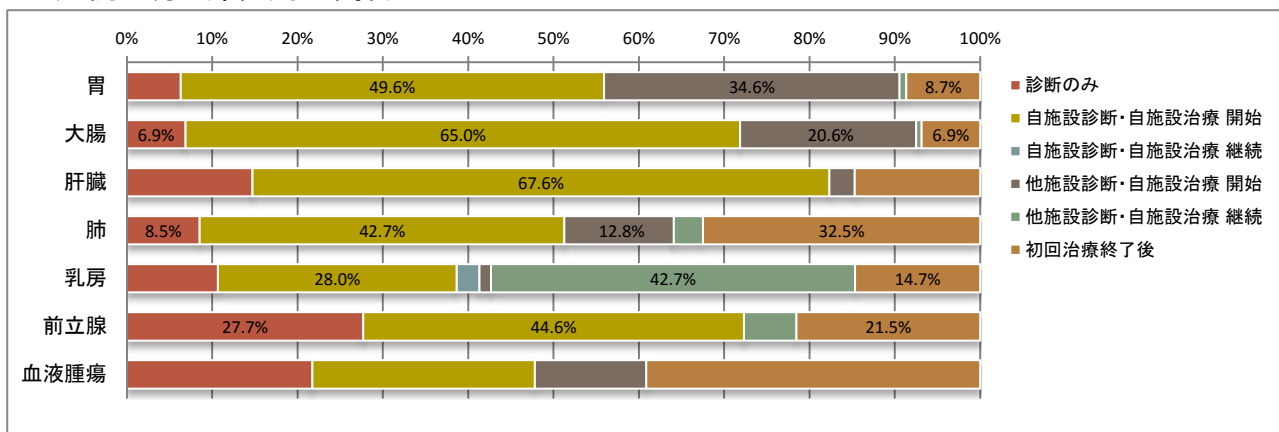


2-7. 症例区分 部位別

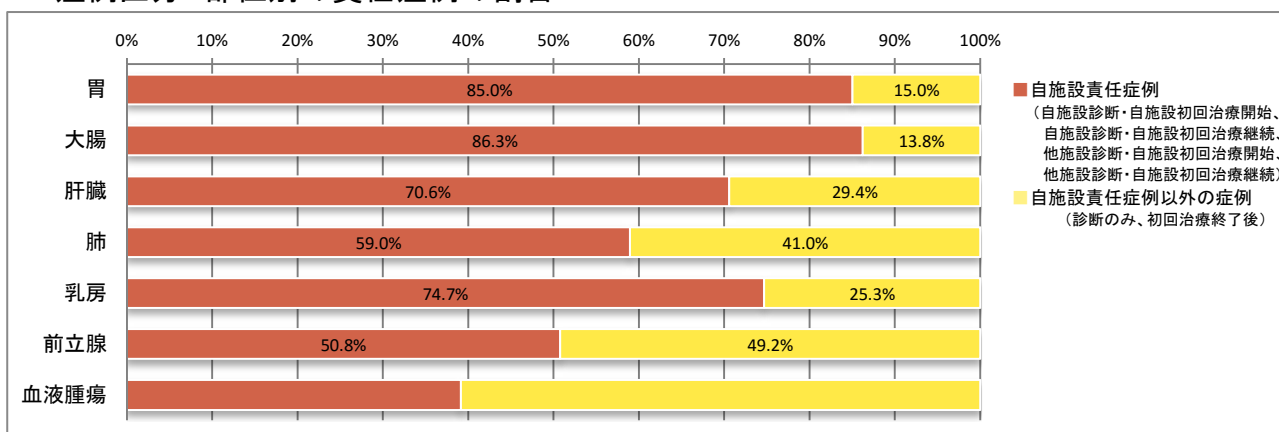
	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
診断のみ	件数 (7~9) —	件数 11 (6.9%)	件数 (4~6) —	件数 10 (8.5%)	件数 (7~9) —
自施設診断・自施設治療 開始	63 (49.6%)	104 (65.0%)	23 (67.6%)	50 (42.7%)	21 (28.0%)
自施設診断・自施設治療 継続	0 —	0 —	0 —	0 —	(1~3) —
他施設診断・自施設治療 開始	44 (34.6%)	33 (20.6%)	(1~3) —	15 (12.8%)	(1~3) —
他施設診断・自施設治療 継続	(1~3) —	(1~3) —	0 —	(4~6) —	32 (42.7%)
初回治療終了後	11 (8.7%)	11 (6.9%)	(4~6) —	38 (32.5%)	11 (14.7%)

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
診断のみ	件数 18 (27.7%)	件数 0 —	件数 0 —	件数 (4~6) —
自施設診断・自施設治療 開始	29 (44.6%)	0 —	0 —	(4~6) —
自施設診断・自施設治療 継続	0 —	0 —	0 —	0 —
他施設診断・自施設治療 開始	0 —	0 —	0 —	(1~3) —
他施設診断・自施設治療 継続	(4~6) —	(1~3) —	0 —	0 —
初回治療終了後	14 (21.5%)	(1~3) —	(1~3) —	(7~9) —

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

3-1. 診断時住所別

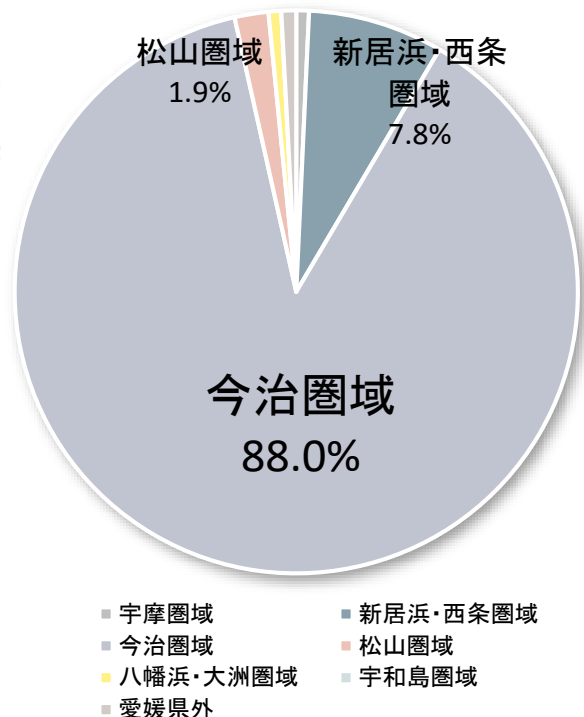
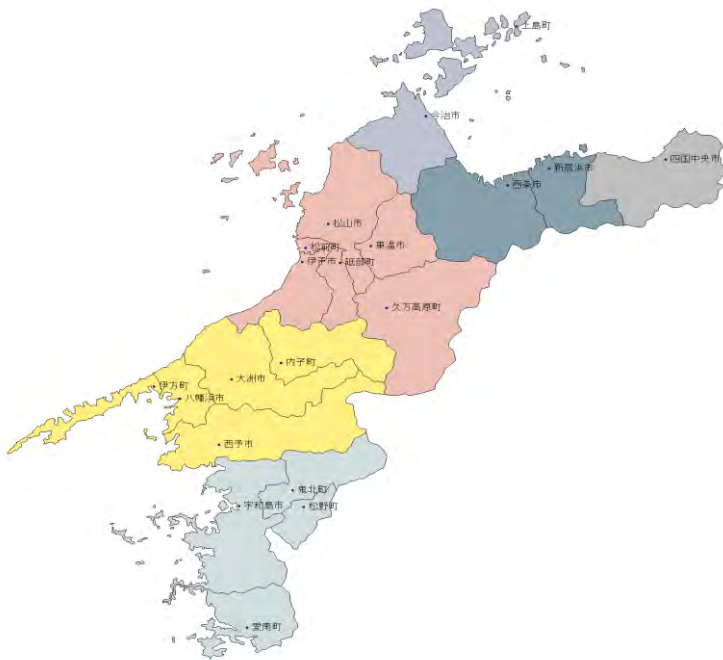
医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	(4~6)	—	四国中央市		(4~6)
新居浜・西条圏域	64	(7.8%)	新居浜市 西条市		(7~9) 55
今治圏域	725	(88.0%)	今治市 越智郡	(上島町)	723 (1~3)
松山圏域	16	(1.9%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	14 0 (1~3) 0 (1~3)
八幡浜・大洲圏域	(4~6)	—	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	(4~6) (1~3) 0 (1~3) 0
宇和島圏域	0	—	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡	(松野町、鬼北町) (愛南町)	0 0 0
愛媛県外	(7~9)	—	高知県 香川県 徳島県 その他		0 (1~3) 0 (4~6)
合計(全登録数)					824

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

88.0%

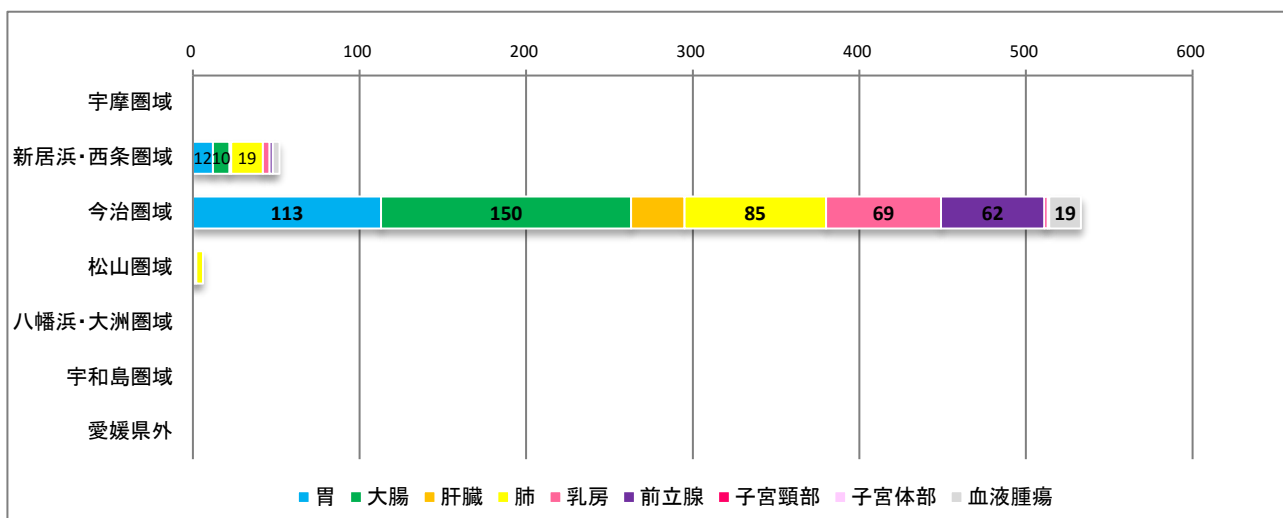
##



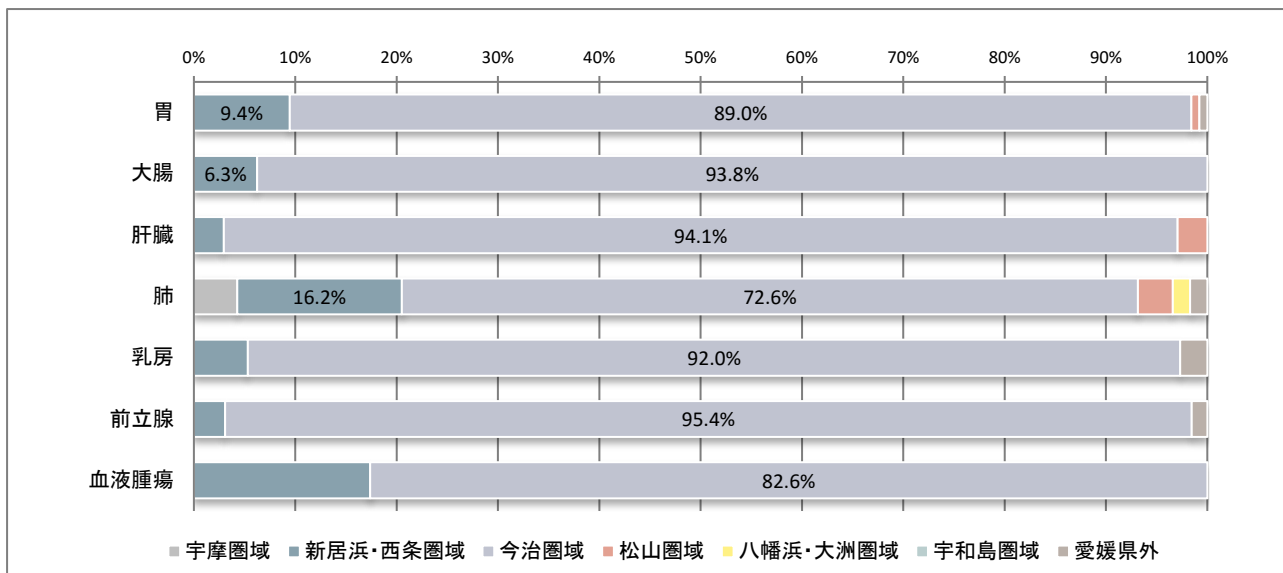
*説明ポイント⑤ 2019年の今治圏域は初めて700件を超える725件です。

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
宇摩圏域	0	0	0	(4~6)	0	0	0	0	0
新居浜・西条圏域	12	10	(1~3)	19	(4~6)	(1~3)	0	0	(4~6)
今治圏域	113	150	32	85	69	62	(1~3)	(1~3)	19
松山圏域	(1~3)	0	(1~3)	(4~6)	0	0	0	0	0
八幡浜・大洲圏域	0	0	0	(1~3)	0	0	0	0	0
宇和島圏域	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県外	(1~3)	0	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	0	0
部位別 合 計	127	160	34	117	75	65	(1~3)	(1~3)	23
部位別の登録数に占める 担当医療圏の登録割合 (担当医療圏登録数/登録数)	89.0%	93.8%	94.1%	72.6%	92.0%	95.4%	--	--	82.6%



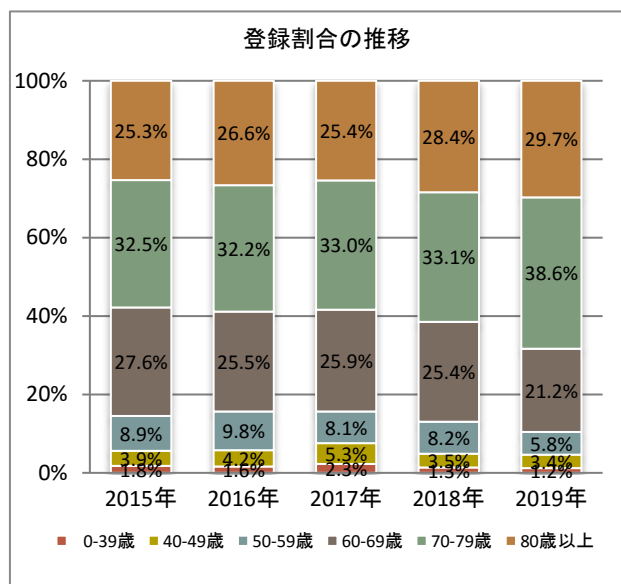
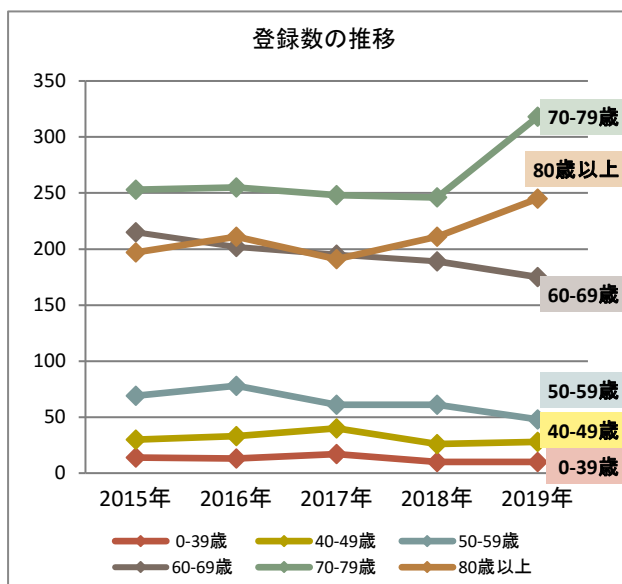
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



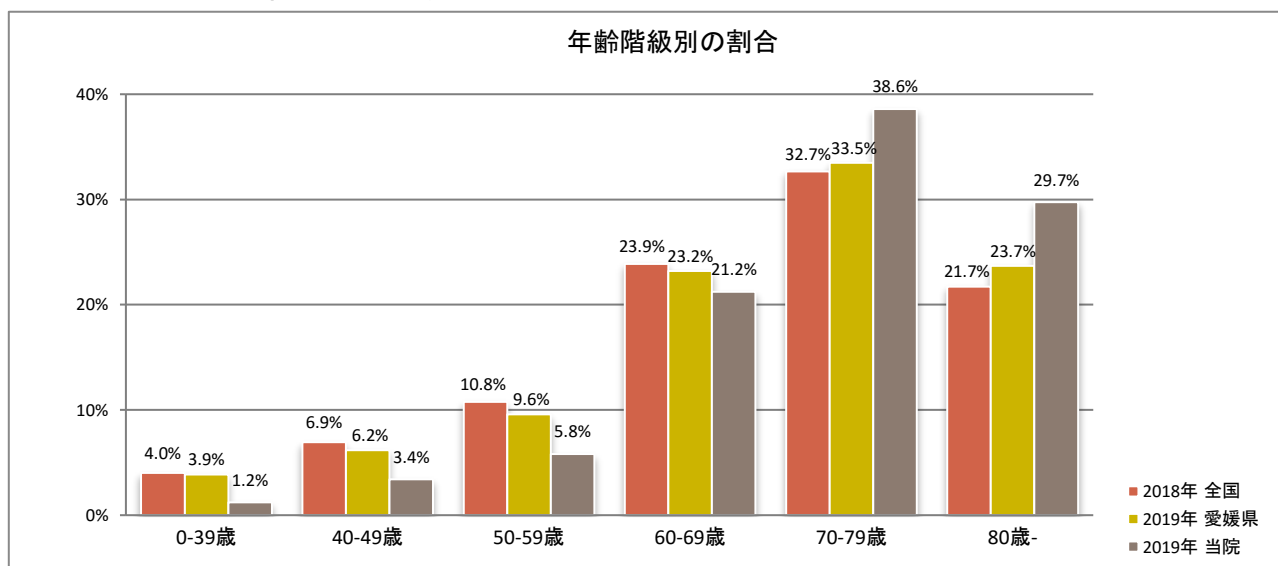
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	14	(1.8%)	13	(1.6%)	17	(2.3%)	10	(1.3%)	10	(1.2%)
40-49歳	30	(3.9%)	33	(4.2%)	40	(5.3%)	26	(3.5%)	28	(3.4%)
50-59歳	69	(8.9%)	78	(9.8%)	61	(8.1%)	61	(8.2%)	48	(5.8%)
60-69歳	215	(27.6%)	202	(25.5%)	195	(25.9%)	189	(25.4%)	175	(21.2%)
70-79歳	253	(32.5%)	255	(32.2%)	248	(33.0%)	246	(33.1%)	318	(38.6%)
80歳-	197	(25.3%)	211	(26.6%)	191	(25.4%)	211	(28.4%)	245	(29.7%)



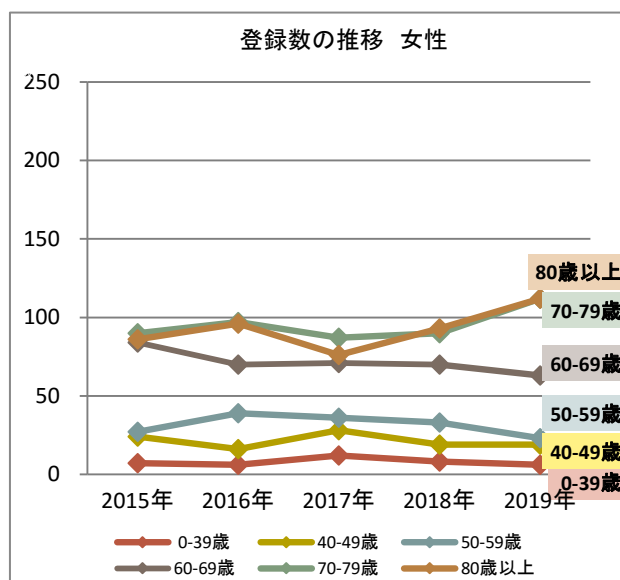
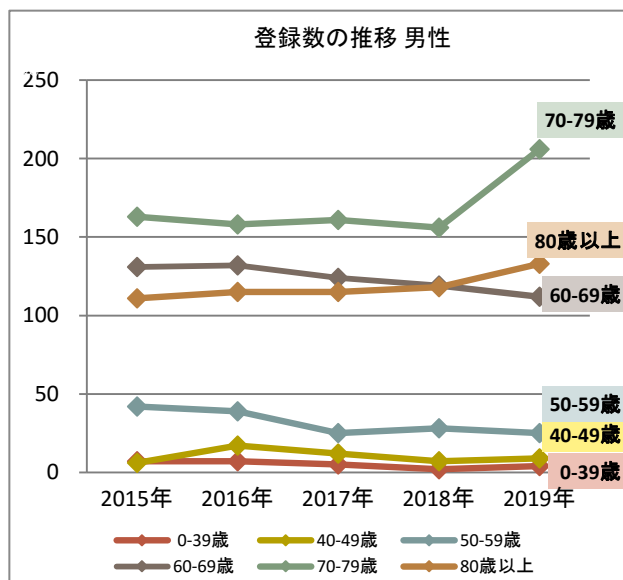
4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較



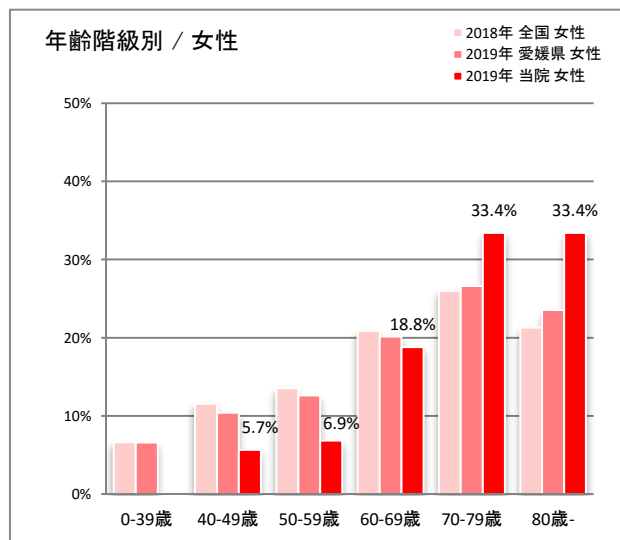
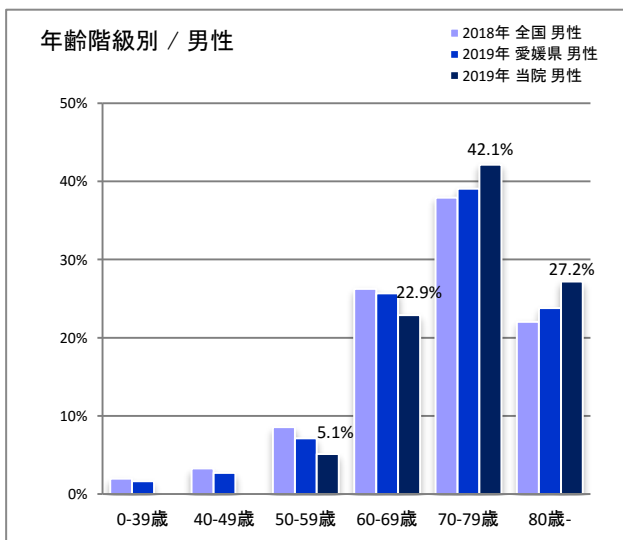
*説明ポイント⑥ 70歳代以上の登録数は増加傾向です。

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年	
男性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	(7~9)	--	(7~9)	--	(4~6)	--	(1~3)	--	(4~6)	--
40-49歳	(4~6)	--	17	(3.6%)	12	(2.7%)	(7~9)	--	(7~9)	--
50-59歳	42	(9.1%)	39	(8.3%)	25	(5.7%)	28	(6.5%)	25	(5.1%)
60-69歳	131	(28.5%)	132	(28.2%)	124	(28.1%)	119	(27.7%)	112	(22.9%)
70-79歳	163	(35.4%)	158	(33.8%)	161	(36.4%)	156	(36.3%)	206	(42.1%)
80歳-	111	(24.1%)	115	(24.6%)	115	(26.0%)	118	(27.4%)	133	(27.2%)
女性	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
0-39歳	(7~9)	--	(4~6)	--	12	(3.9%)	(7~9)	--	(4~6)	--
40-49歳	24	(7.5%)	16	(4.9%)	28	(9.0%)	19	(6.1%)	19	(5.7%)
50-59歳	27	(8.5%)	39	(12.0%)	36	(11.6%)	33	(10.5%)	23	(6.9%)
60-69歳	84	(26.4%)	70	(21.6%)	71	(22.9%)	70	(22.4%)	63	(18.8%)
70-79歳	90	(28.3%)	97	(29.9%)	87	(28.1%)	90	(28.8%)	112	(33.4%)
80歳-	86	(27.0%)	96	(29.6%)	76	(24.5%)	93	(29.7%)	112	(33.4%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較

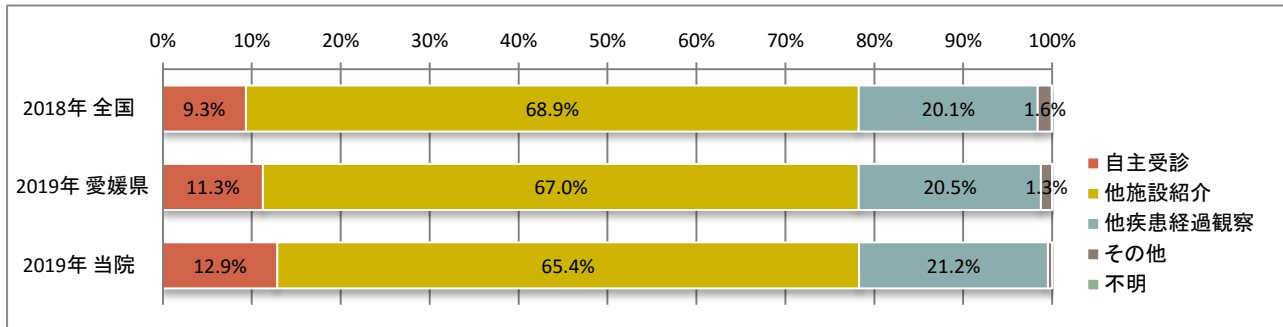


5. 来院経路

5-1. 来院経路

	2017年		2018年		2019年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	118	(15.7%)	119	(16.0%)	106	(12.9%)
他施設紹介	490	(65.2%)	475	(63.9%)	539	(65.4%)
他疾患経過観察	138	(18.4%)	142	(19.1%)	175	(21.2%)
その他	(4～6)	--	(7～9)	--	(4～6)	--
不明	0	--	0	--	0	--

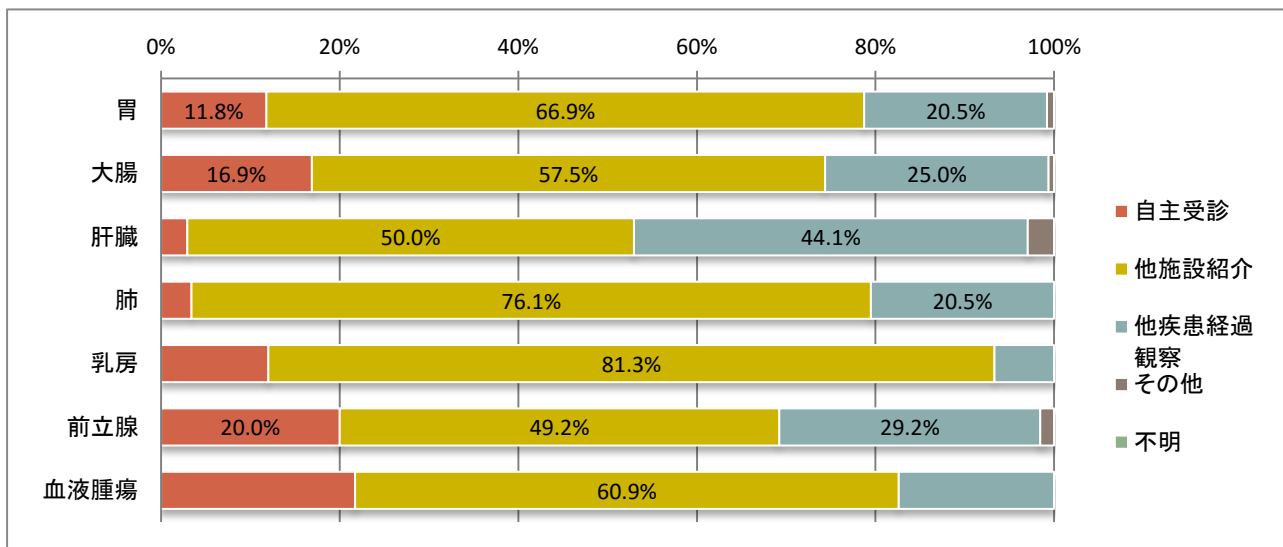
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	15 (11.8%)	27 (16.9%)	(1～3) --	(4～6) --	(7～9) --
他施設紹介	85 (66.9%)	92 (57.5%)	17 (50.0%)	89 (76.1%)	61 (81.3%)
他疾患経過観察	26 (20.5%)	40 (25.0%)	15 (44.1%)	24 (20.5%)	(4～6) --
その他	(1～3) --	(1～3) --	(1～3) --	0 --	0 --
不明	0 --	0 --	0 --	0 --	0 --

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	13 (20.0%)	0 --	0 --	(4～6) --
他施設紹介	32 (49.2%)	(1～3) --	(1～3) --	14 (60.9%)
他疾患経過観察	19 (29.2%)	0 --	0 --	(4～6) --
その他	(1～3) --	0 --	0 --	0 --
不明	0 --	0 --	0 --	0 --



*説明ポイント⑦ 『自主受診』割合が高い施設は、地域のがん診療連携拠点病院に見られる傾向です。

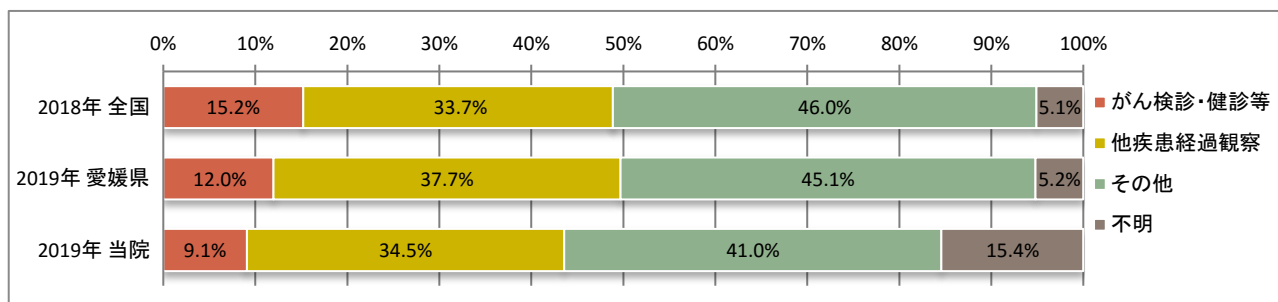
*説明ポイント⑧ 『他施設紹介』で、登録数の多い部位は、大腸 肺 胃 乳房 膵臓です。

6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

	2017年		2018年		2019年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	62	(8.2%)	50	(6.7%)	75	(9.1%)
他疾患経過観察	245	(32.6%)	247	(33.2%)	284	(34.5%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	338	(44.9%)	340	(45.8%)	338	(41.0%)
不明	107	(14.2%)	106	(14.3%)	127	(15.4%)

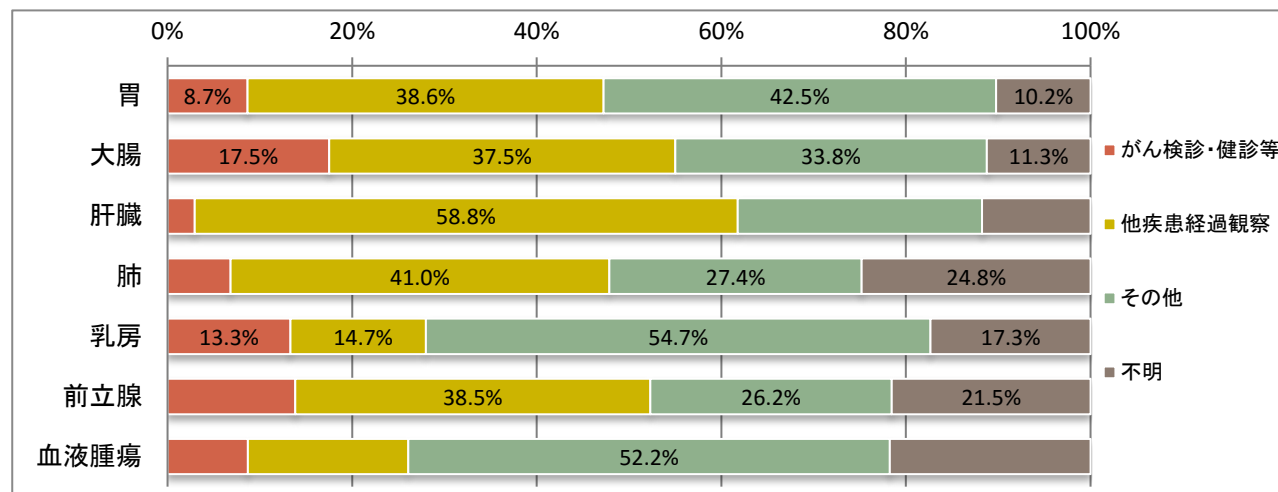
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃		大腸		肝臓		肺		乳房	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	11	(8.7%)	28	(17.5%)	(1~3)	--	(7~9)	--	10	(13.3%)
他疾患経過観察	49	(38.6%)	60	(37.5%)	20	(58.8%)	48	(41.0%)	11	(14.7%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	54	(42.5%)	54	(33.8%)	(7~9)	--	32	(27.4%)	41	(54.7%)
不明	13	(10.2%)	18	(11.3%)	(4~6)	--	29	(24.8%)	13	(17.3%)

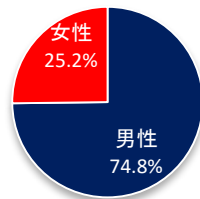
	前立腺		子宮頸部		子宮体部		血液腫瘍	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断・人間ドック	(7~9)	--	0	--	0	--	(1~3)	--
他疾患経過観察	25	(38.5%)	0	--	0	--	(4~6)	--
剖検発見	0	--	0	--	0	--	0	--
その他	17	(26.2%)	(1~3)	--	(1~3)	--	12	(52.2%)
不明	14	(21.5%)	(1~3)	--	0	--	(4~6)	--



7-1. 部位別：胃

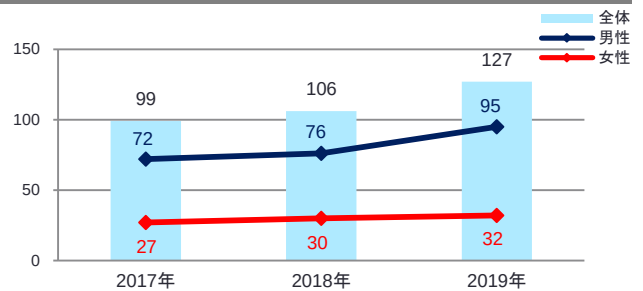
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	127
男性	95
女性	32

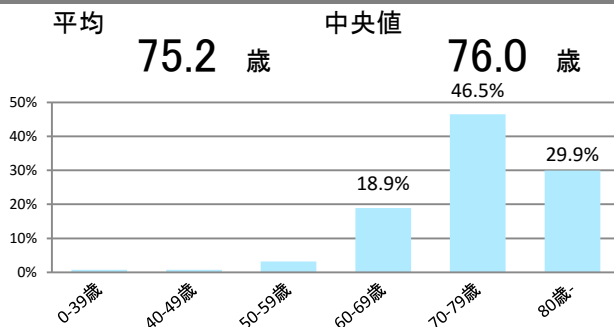


当院全登録数に占める胃がんの割合 **15.4%**

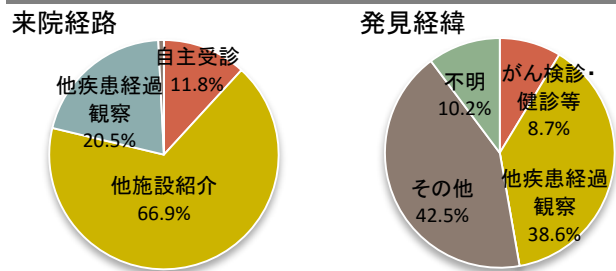
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

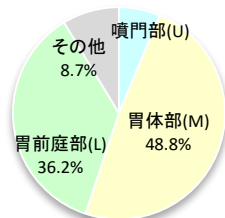


4. 来院経路と発見経緯

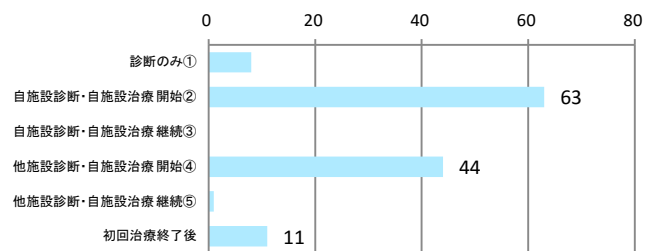


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	(7~9)	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	(1~3)	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	62	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	46	C16.9	胃NOS	11
C16.4	幽門	0			



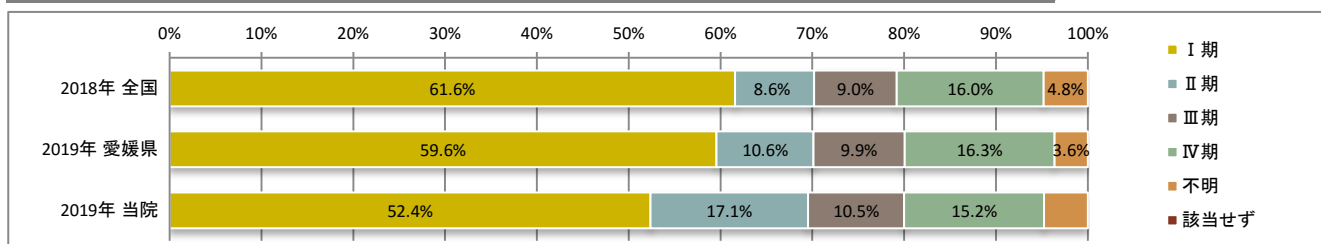
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	108	85.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	71	55.9%

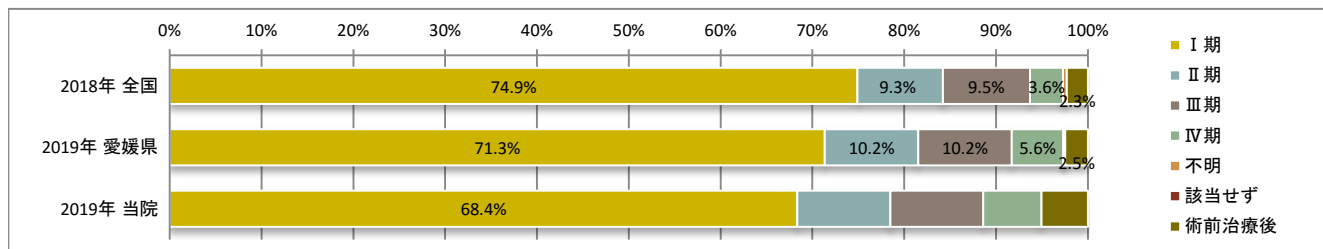
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数		55	18	11	16	(4~6)	0	105
割合		52.4%	17.1%	10.5%	15.2%	--	--	



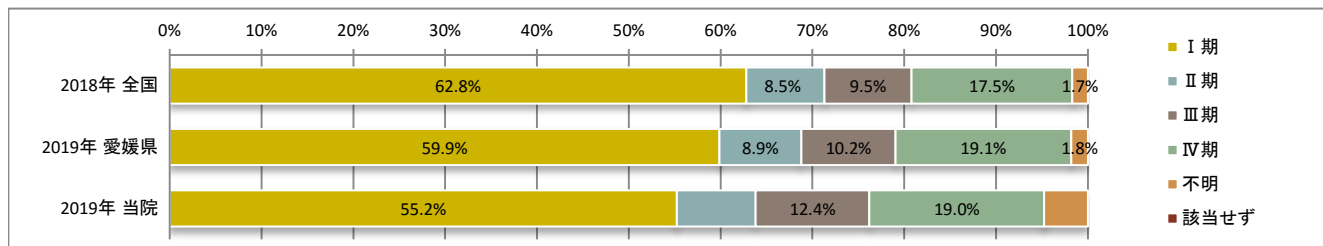
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後
件数		54	(7~9)	(7~9)	(4~6)	0	0	(4~6)
割合		68.4%	--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		合計
件数		0	0	(1~3)	0	0		79
割合		--	--	--	--	--		



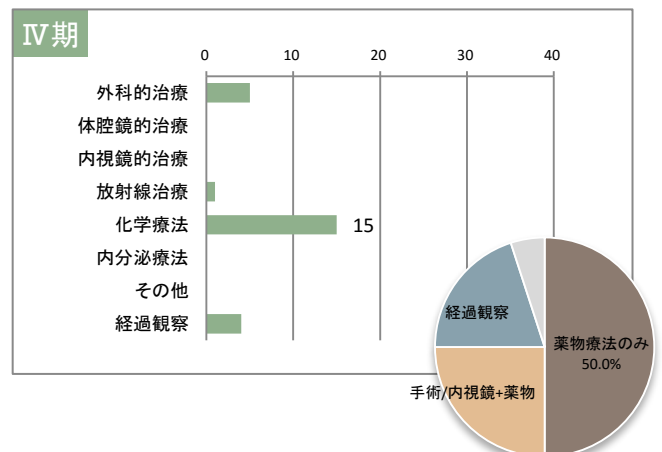
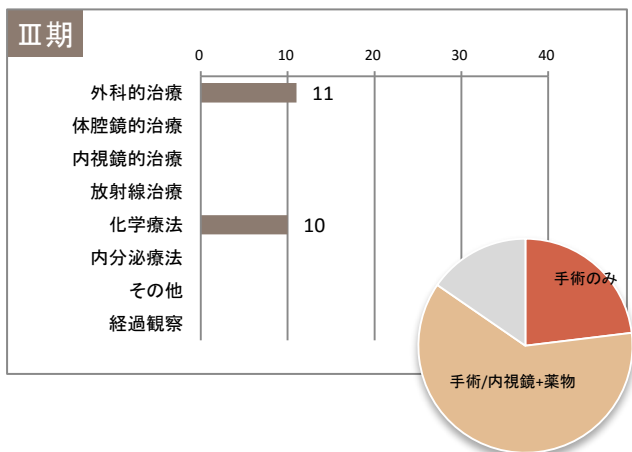
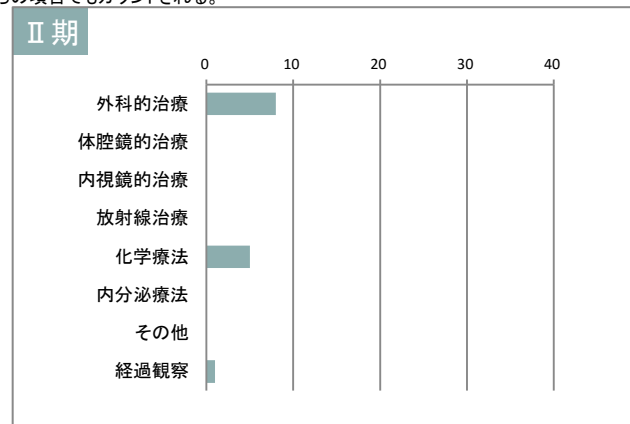
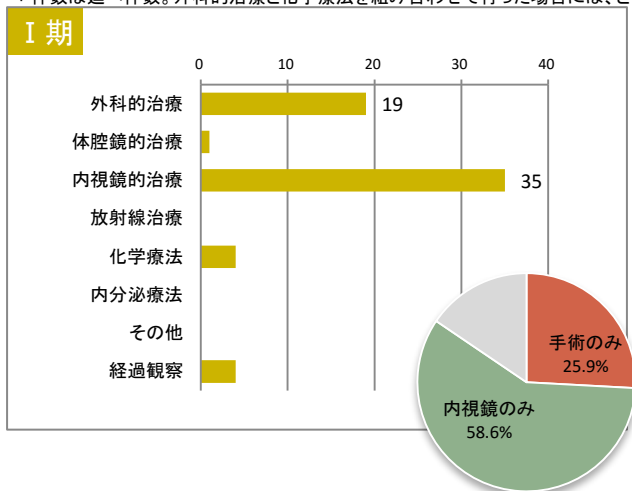
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数		58	(7~9)	13	20	(4~6)	0	105
割合		55.2%	--	12.4%	19.0%	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

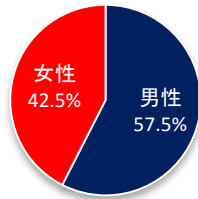
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせを行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別:大腸

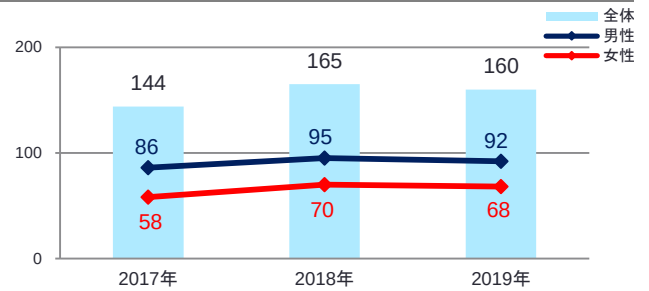
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	160
男性	92
女性	68

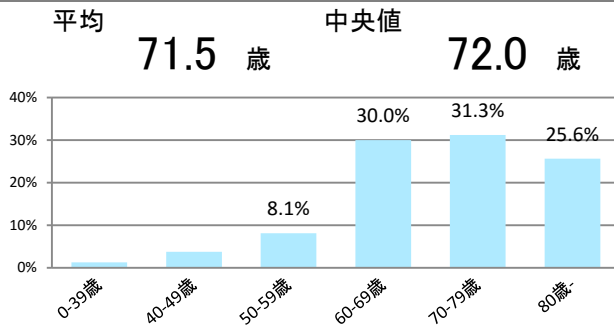


当院全登録数に占める大腸がんの割合 **19.4%**

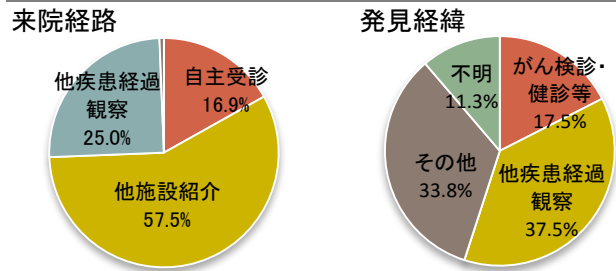
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

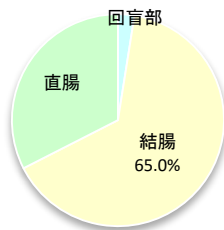


4. 来院経路と発見経緯

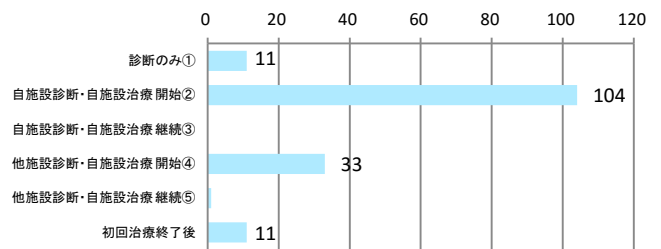


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	(4~6)	C19.9	直腸S状結腸	(7~9)
C18.1	虫垂	0	C20.9	直腸	43
C18.2	上行結腸	27			
C18.3	右結腸曲	(1~3)			
C18.4	横行結腸	(7~9)			
C18.5	左結腸曲	(1~3)			
C18.6	下行結腸	16			
C18.7	S状結腸	50			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	0			



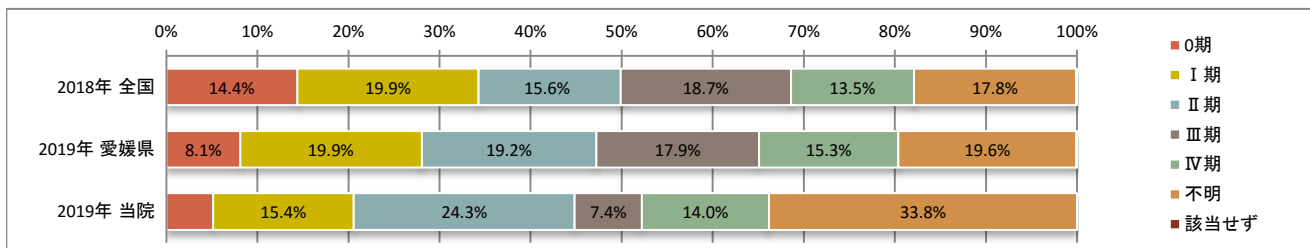
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	138	86.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	115	71.9%

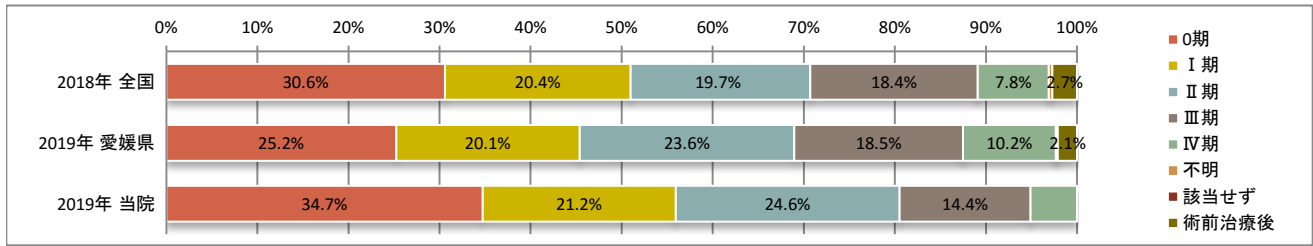
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(7~9)	21	33	10	19	46	0	136
割合	--	15.4%	24.3%	7.4%	14.0%	33.8%	--	



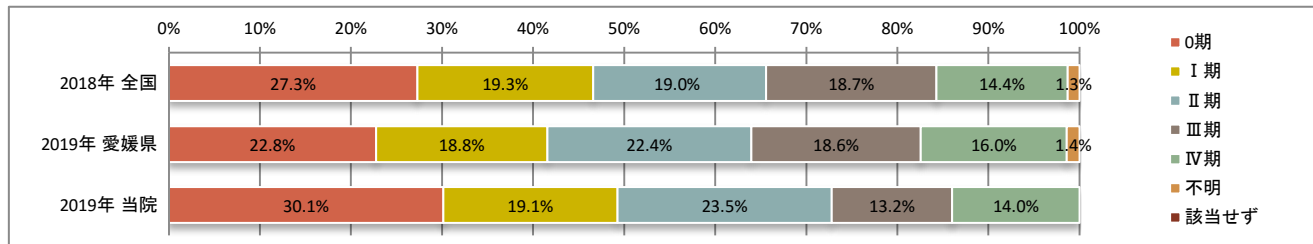
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後
件数	41	24	29	17	(4~6)	0	0	0
割合	34.7%	20.3%	24.6%	14.4%	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		合計
件数	0	(1~3)	0	0	0	0		118
割合	--	--	--	--	--	--		



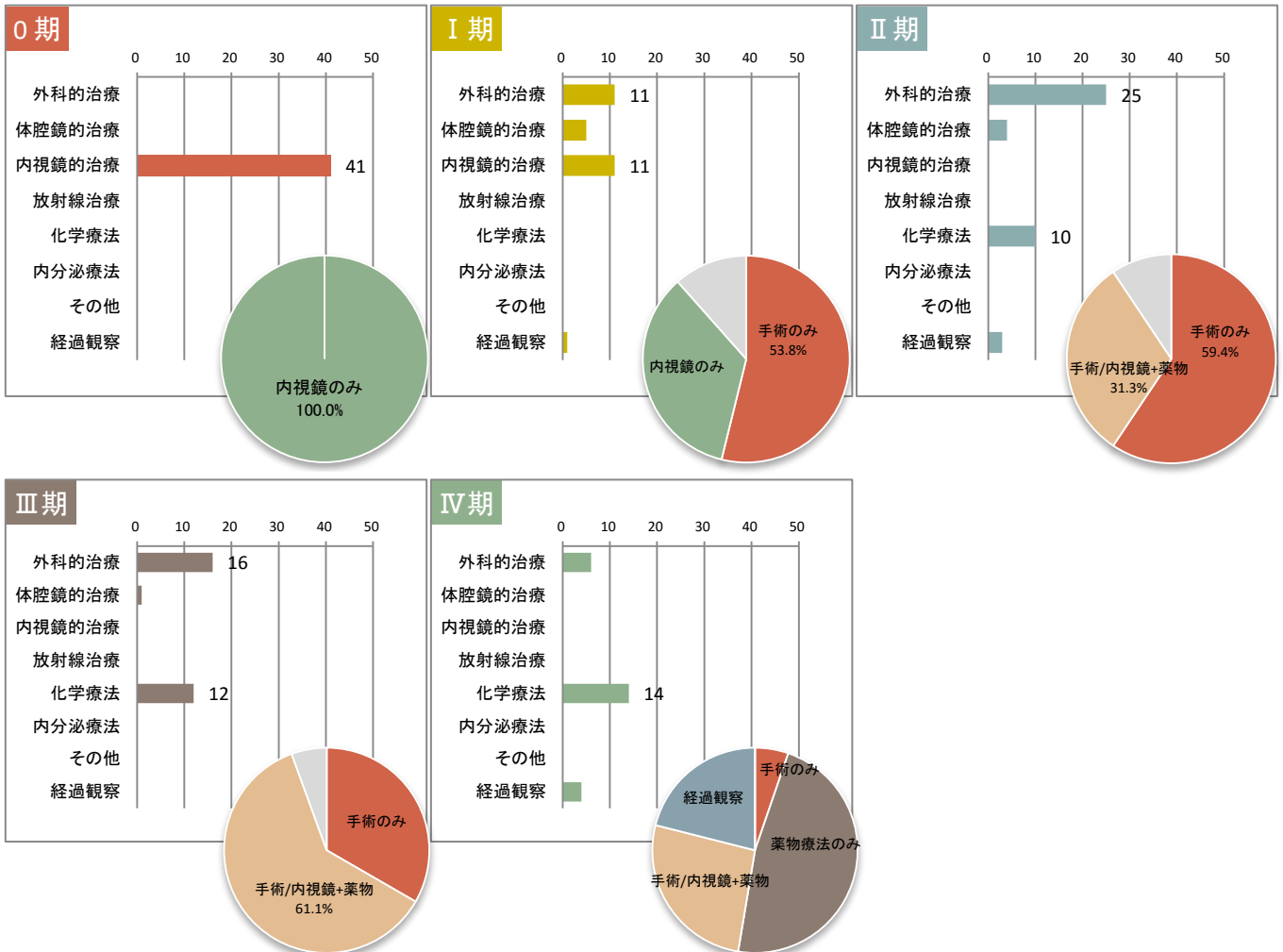
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	41	26	32	18	19	0	0	136
割合	30.1%	19.1%	23.5%	13.2%	14.0%	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

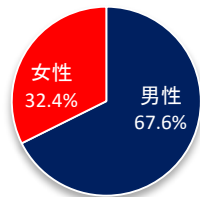
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別：肝臓

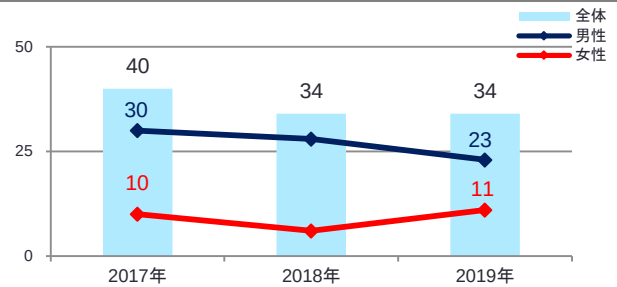
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	34
男性	23
女性	11

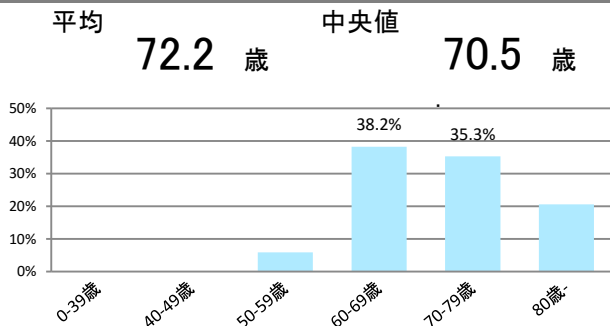


当院全登録数に占める肝臓がんの割合 **4.1%**

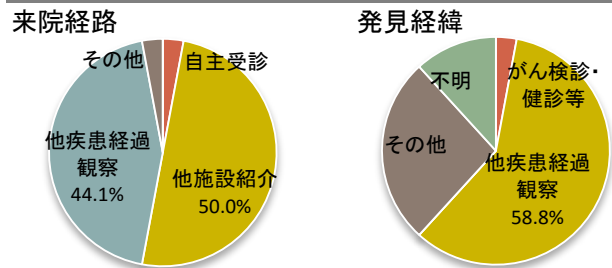
2. 登録数の年次推移



3. 年齢



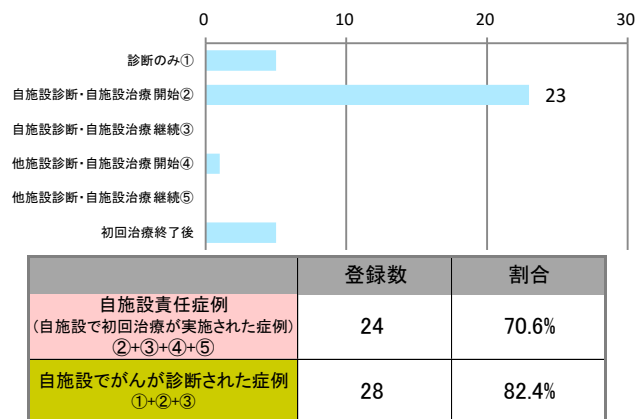
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	28
C221	肝内胆管	(4~6)

6. 症例区分

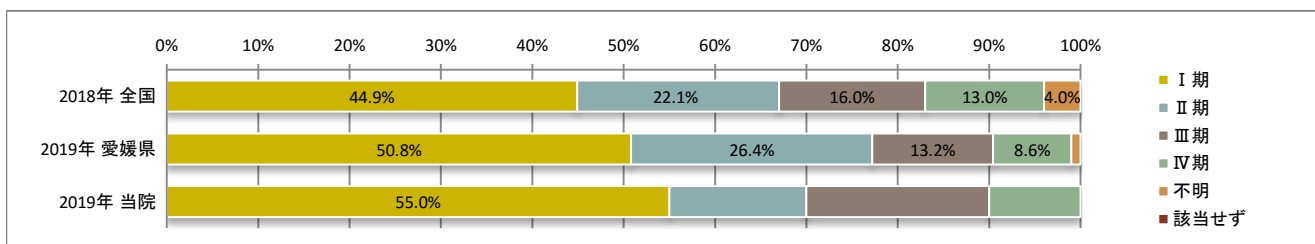


7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	28
C221	肝内胆管癌	(4~6)

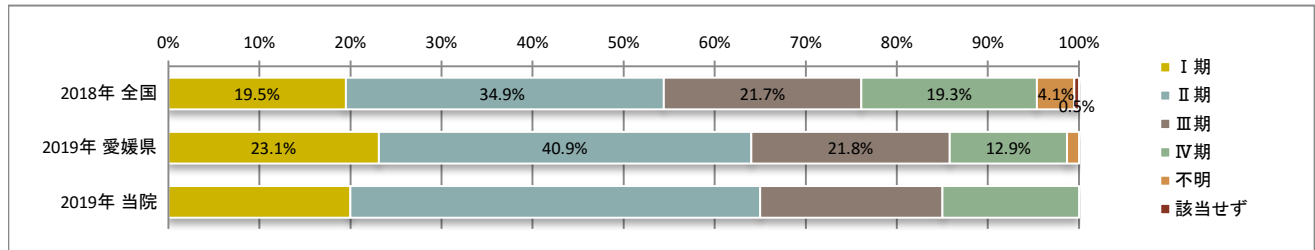
8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 < 症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ >

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数		11	(1~3)	(4~6)	(1~3)	0	0	20
割合		55.0%	--	--	--	--	--	



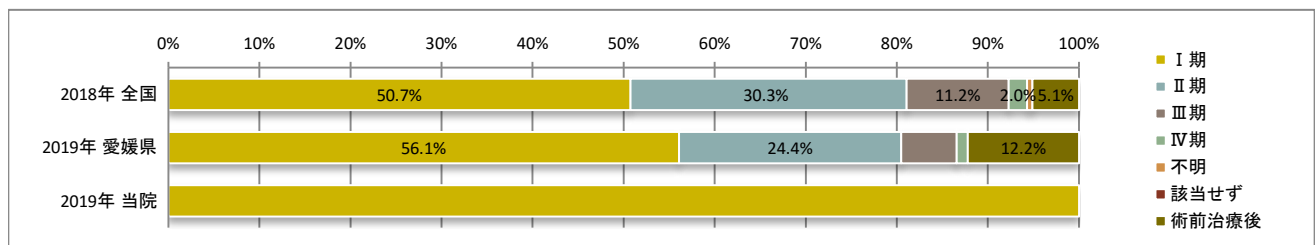
9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 < 症例区分20~31(自施設診断および初回治療実施症例)、病期分類対象のみ >

2019年	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(4~6)	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	0	20
割合	--	--	--	--	--	--	



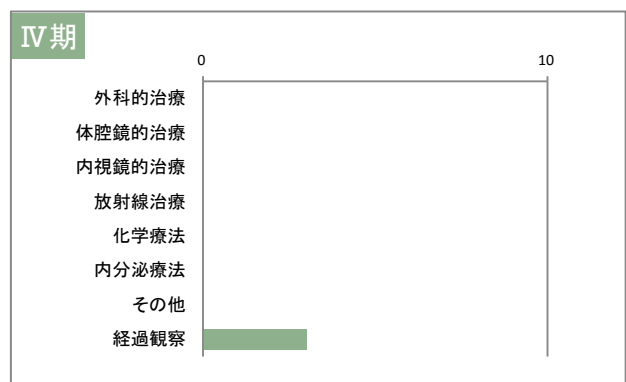
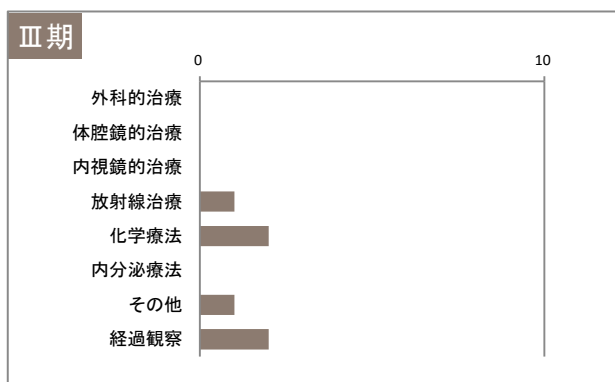
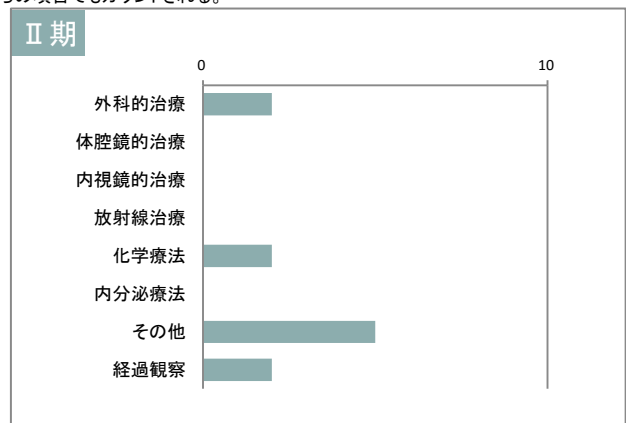
10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	術前治療後
件数	(1～3)	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--	--
	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明	合計	
件数	0	0	0	0	0	(1～3)	
割合	--	--	--	--	--		



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

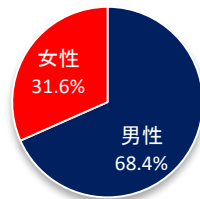
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別:肺

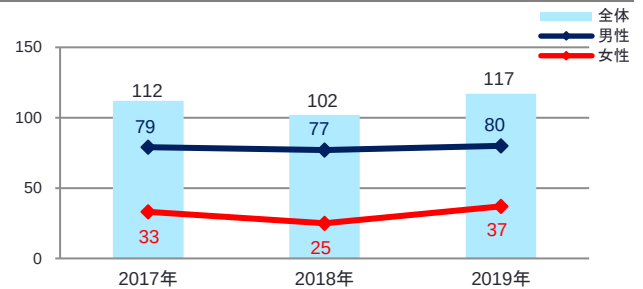
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	117
男性	80
女性	37

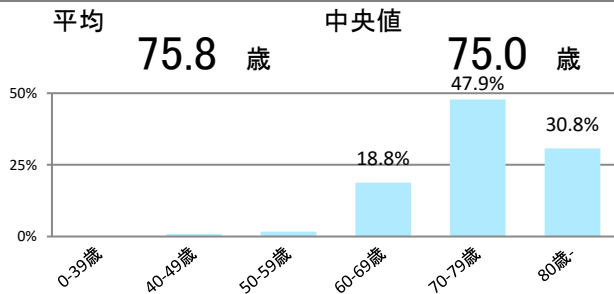


当院全登録数に占める肺がんの割合 **14.2%**

2. 登録数の年次推移

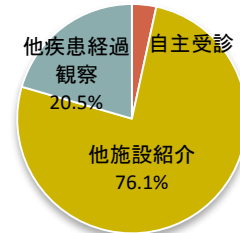


3. 年齢

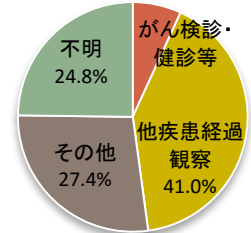


4. 来院経路と発見経緯

来院経路

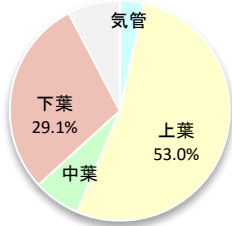


発見経緯

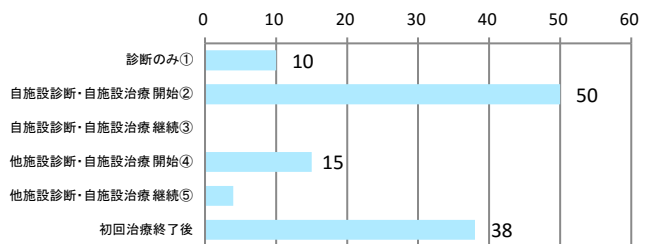


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部 位 名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	(4~6)
C341	上葉・肺尖部	62
C342	中葉	(7~9)
C343	下葉	34
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS	(7~9)



6. 症例区分



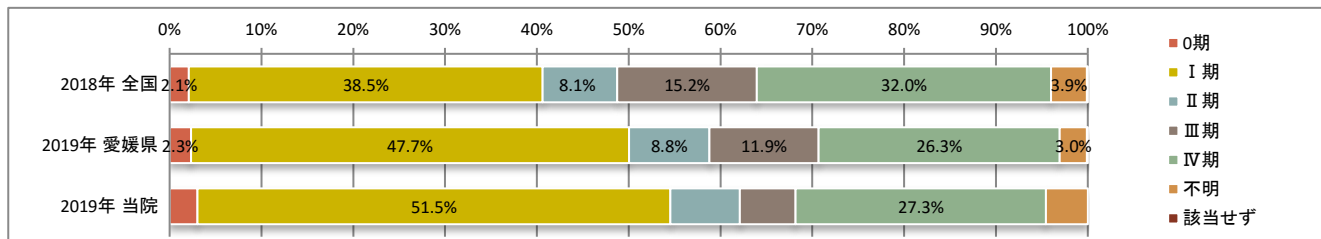
	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	69	59.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	60	51.3%

7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組 織 分 類	登録数
非小細胞癌	110
小細胞癌	(7~9)

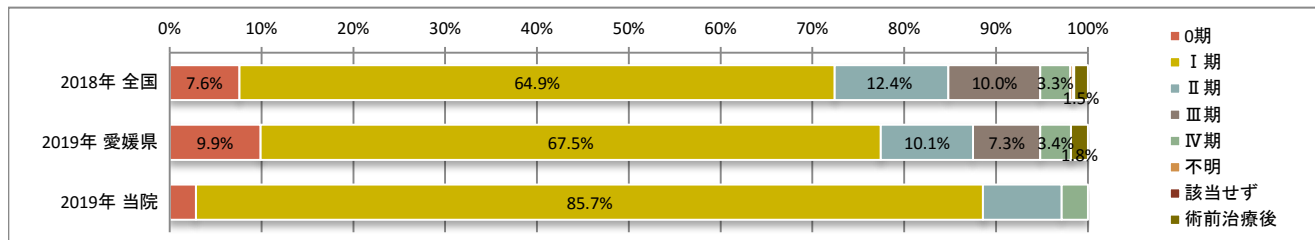
8. UICC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	(1~3)	34	(4~6)	(4~6)	18	(1~3)	0	66
割合	--	51.5%	--	--	27.3%	--	--	--



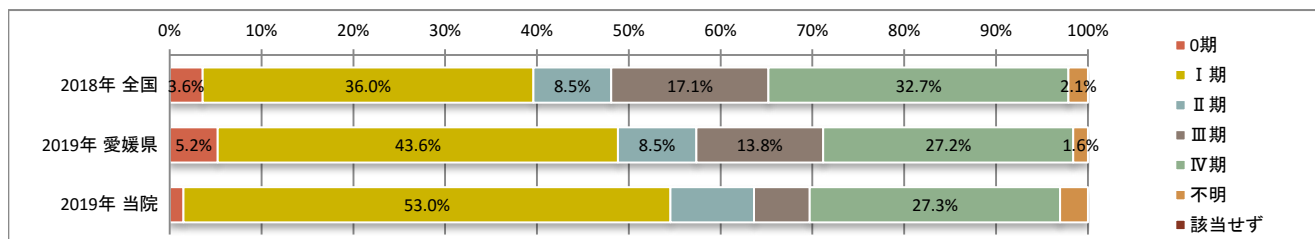
9. UICC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	術前治療後
件数	(1~3)	30	(1~3)	0	0	0	0	0
割合	--	85.7%	--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I 期	(他)II 期	(他)III 期	(他)IV 期	(他)不明		合計
件数	0	0	0	0	(1~3)	0		35
割合	--	--	--	--	--	--		--



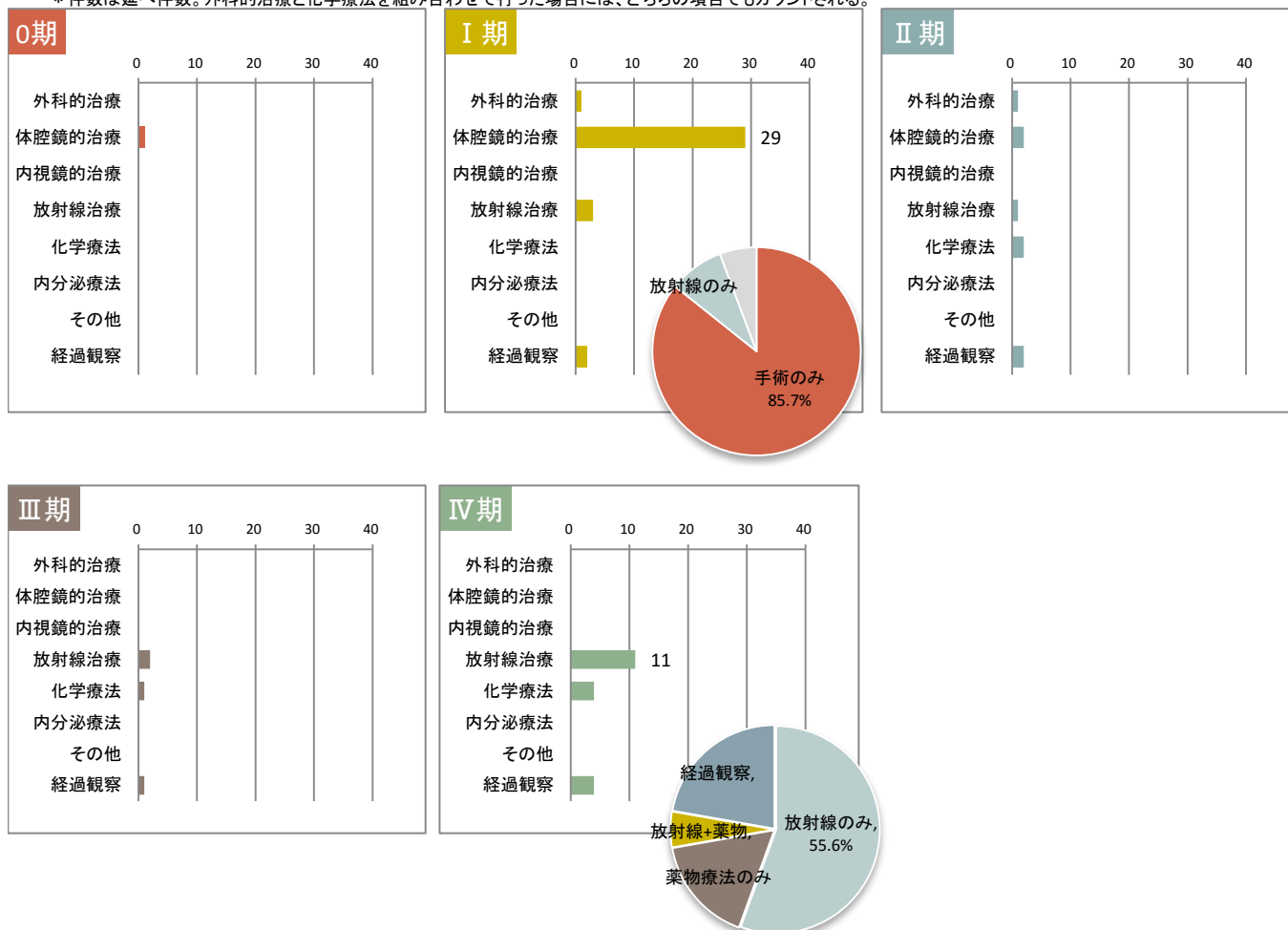
10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(1～3)	35	(4～6)	(4～6)	18	(1～3)	0	66
割合	--	53.0%	--	--	27.3%	--	--	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

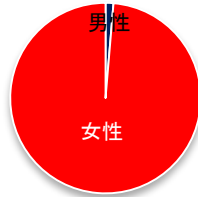
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-5. 部位別：乳房

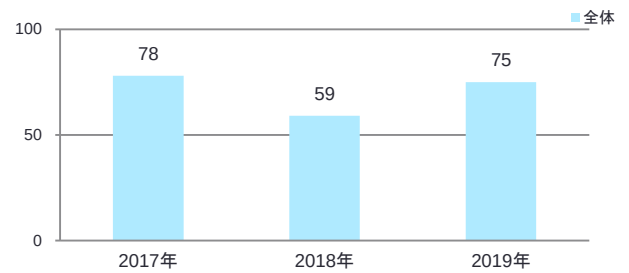
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	75
男性	--
女性	--

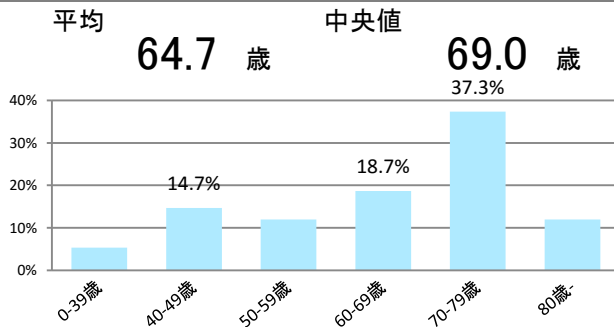


当院全登録数に占める乳がんの割合 **9.1%**

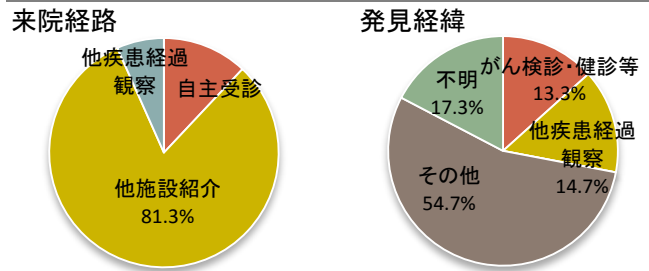
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

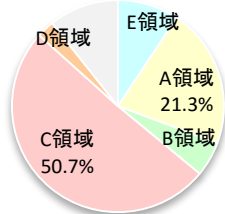


4. 来院経路と発見経緯

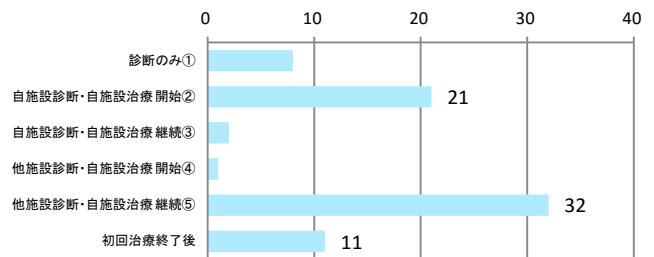


5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	0
C501	E(乳輪部)領域 (7~9)	0
C502	A領域	16
C503	B領域 (4~6)	0
C504	C領域	38
C505	D領域 (1~3)	0
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS (7~9)	0



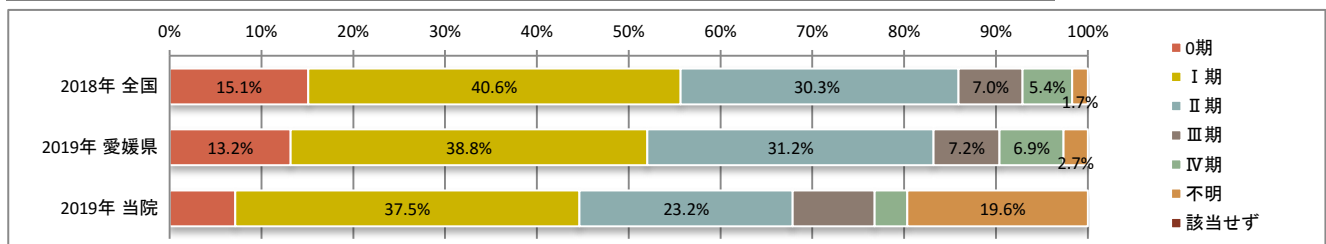
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	56	74.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	31	41.3%

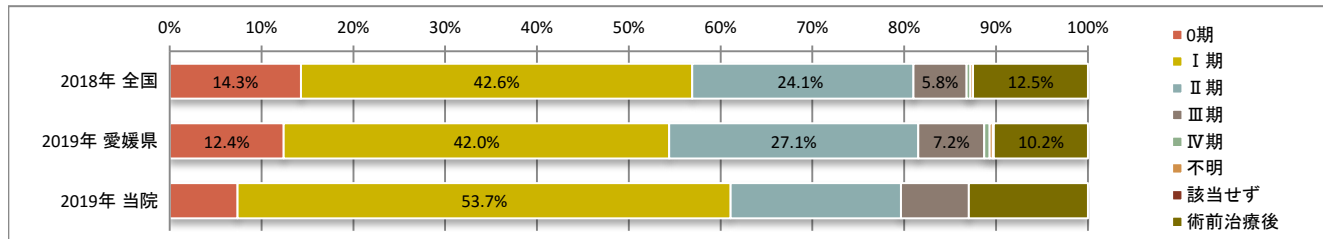
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(4~6)	21	13	(4~6)	(1~3)	11	0	56
割合	--	37.5%	23.2%	--	--	19.6%	--	--



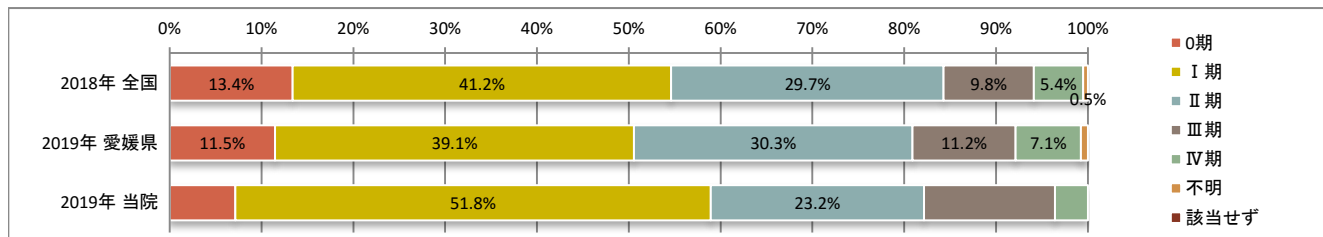
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	術前治療後
件数	0	11	(4~6)	(1~3)	0	0	0	(7~9)
割合	--	20.4%	--	--	--	--	--	--
件数	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		合計
割合	(4~6)	18	(4~6)	(1~3)	0	0		54
割合	--	33.3%	--	--	--	--		--



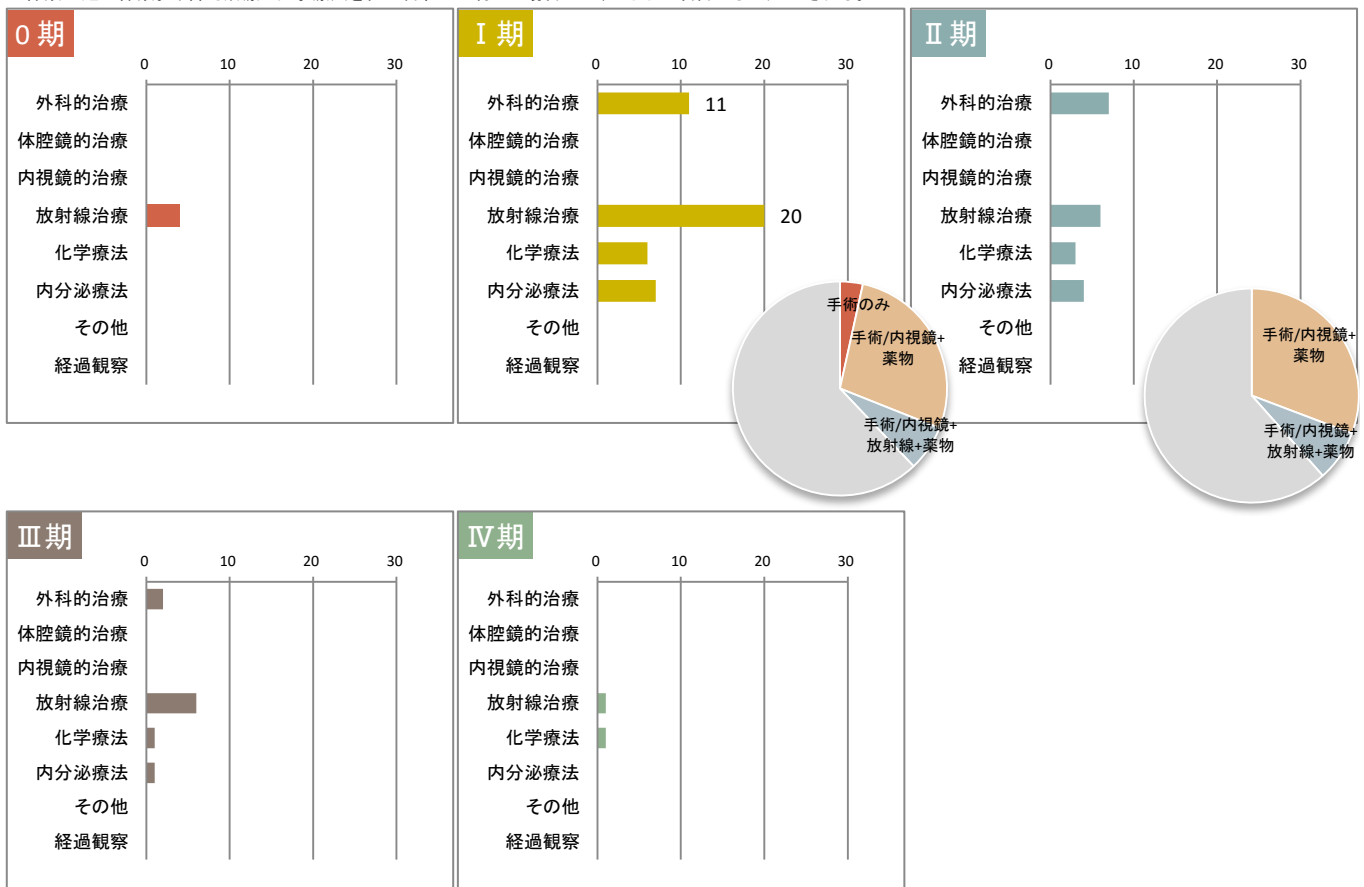
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	0期	I期	Ⅱ期	Ⅲ期	Ⅳ期	不明	該当せず	合計
件数	(4～6)	29	13	(7～9)	(1～3)	0	0	56
割合	--	51.8%	23.2%	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



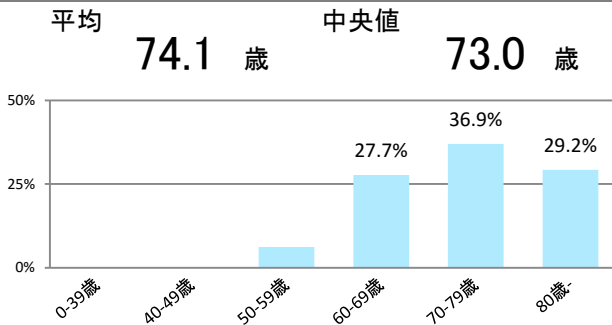
7-6. 部位別：前立腺

1. 登録数と男女割合

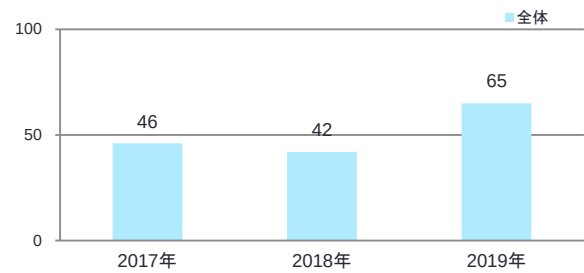
登録数	
全体	65

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 **7.9%**

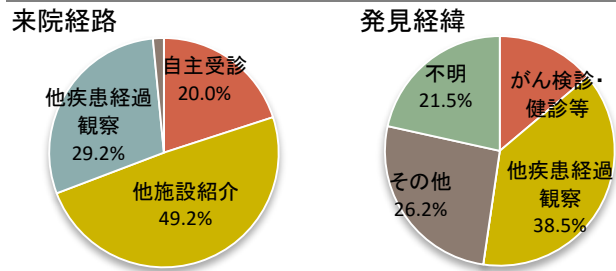
3. 年齢



2. 登録数の年次推移



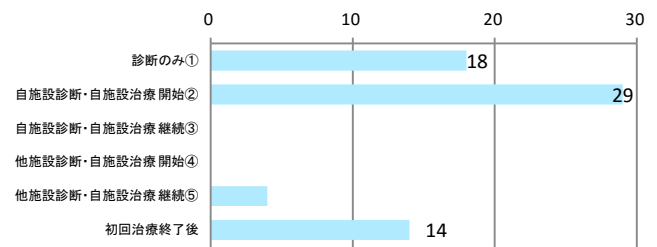
4. 来院経路と発見経緯



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	65

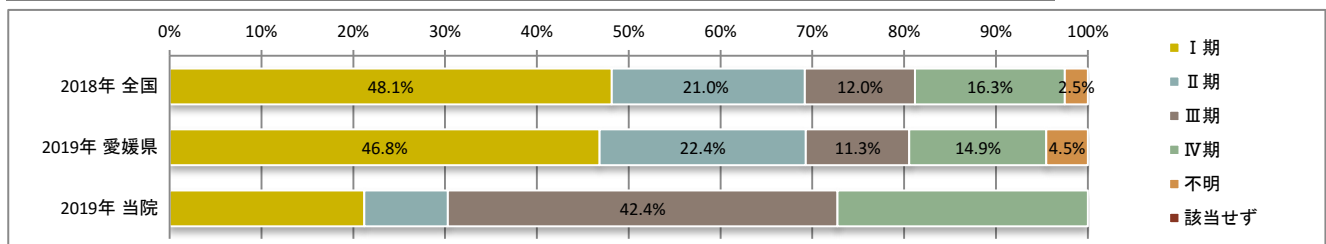
6. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	33	50.8%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	47	72.3%

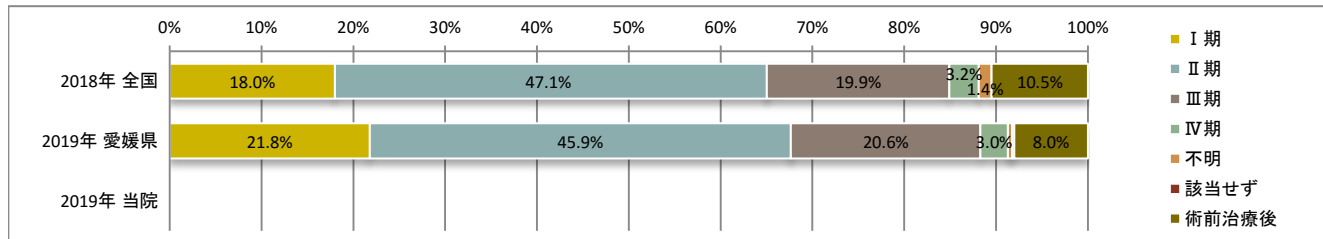
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	(7~9)	(1~3)	14	(7~9)	0	0	33
割合	--	--	42.4%	--	--	--	--



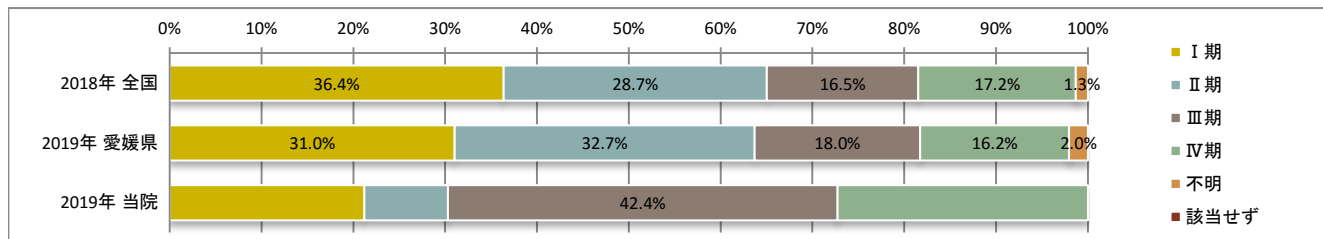
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	術前治療後
件数	0	0	0	0	0	0	0
割合	--	--	--	--	--	--	--
件数	(他) I 期	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明		合計
割合	0	0	0	0	0		0



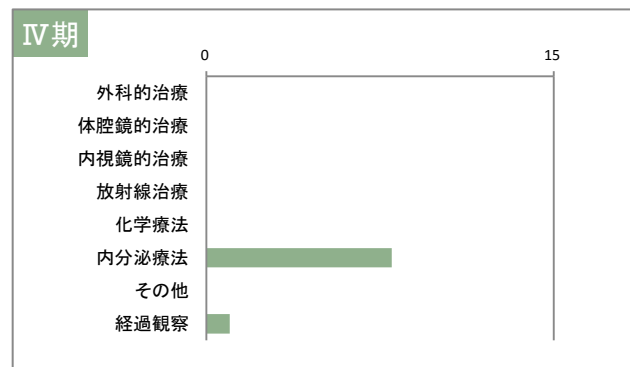
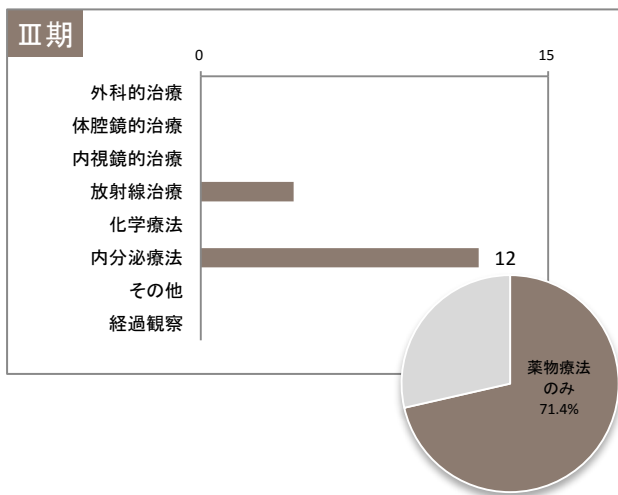
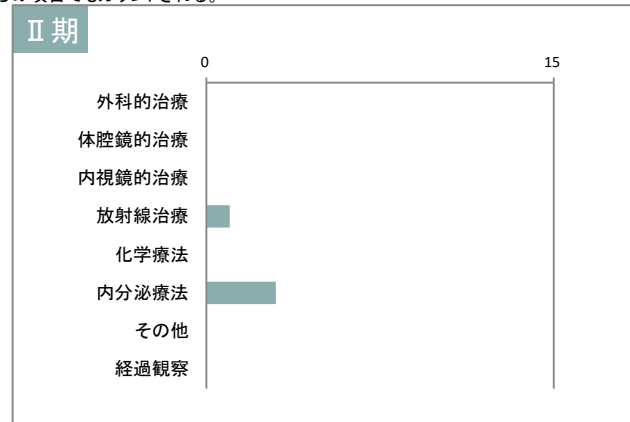
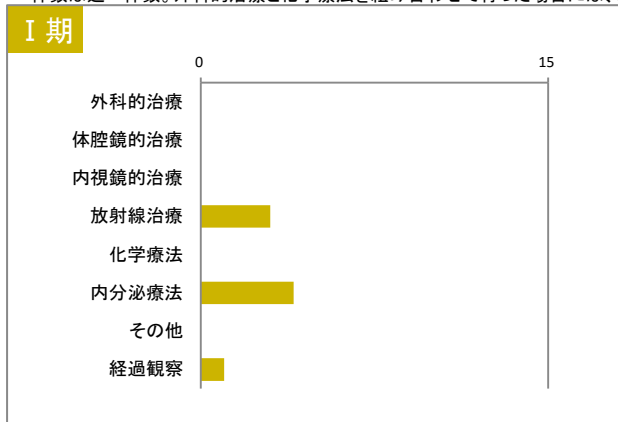
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2019年	I 期	II 期	III期	IV期	不明	該当せず	合計
件数	(7～9)	(1～3)	14	(7～9)	0	0	33
割合	--	--	42.4%	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

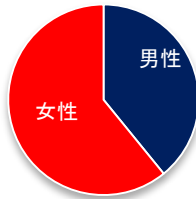
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別:血液腫瘍

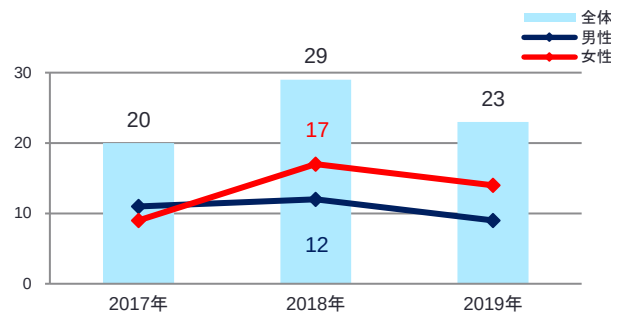
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	23
男性	--
女性	--

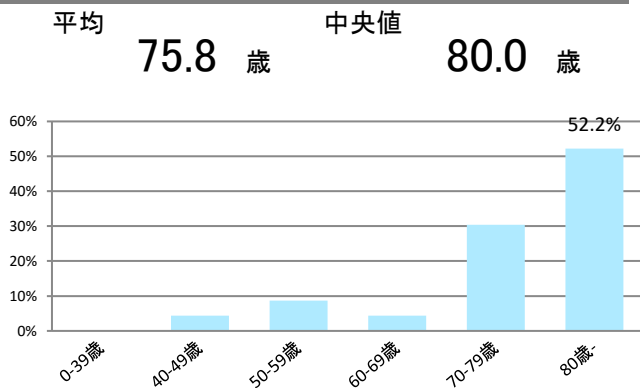


当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 **2.8%**

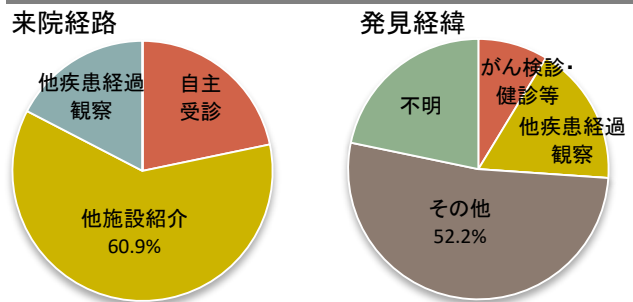
2. 登録数の年次推移



3. 年齢

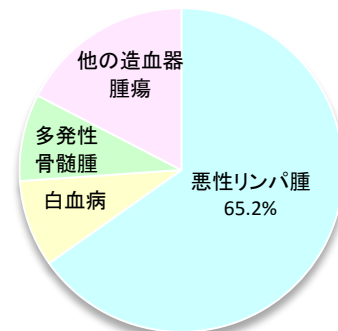


4. 来院経路と発見経緯



5. 分類別登録数

	2017年	2018年	2019年
悪性リンパ腫	16	22	15
多発性骨髄腫	0	(1~3)	(1~3)
白血病	(1~3)	(1~3)	(1~3)
他の造血器腫瘍	(1~3)	(1~3)	(4~6)

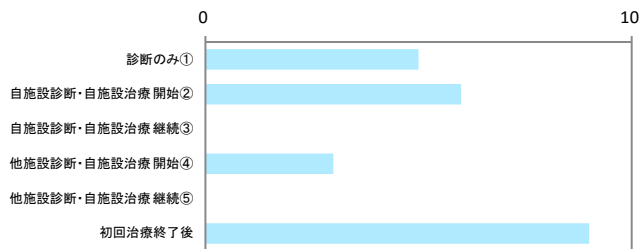


2019年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2018年	2019年
骨髄系腫瘍	骨髄増殖性疾患、肥満細胞症	0	(1~3)
	骨髄異形成・骨髄増殖性腫瘍・骨髄異形成症候群	(1~3)	(1~3)
	急性骨髄性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	(1~3)	0
	分化系統不明瞭な急性白血病	0	0
	その他骨髄系腫瘍	(1~3)	0
リンパ系腫瘍	前駆型リンパ球系腫瘍	0	0
	成熟B細胞腫瘍	15	12
	形質細胞腫瘍	(1~3)	(1~3)
	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	0	(1~3)
	ホジキンリンパ腫	0	0
	その他リンパ系腫瘍	(7~9)	(1~3)
組織球及び樹状細胞腫瘍		0	0
その他(上記で分類できないもの)		(1~3)	(1~3)

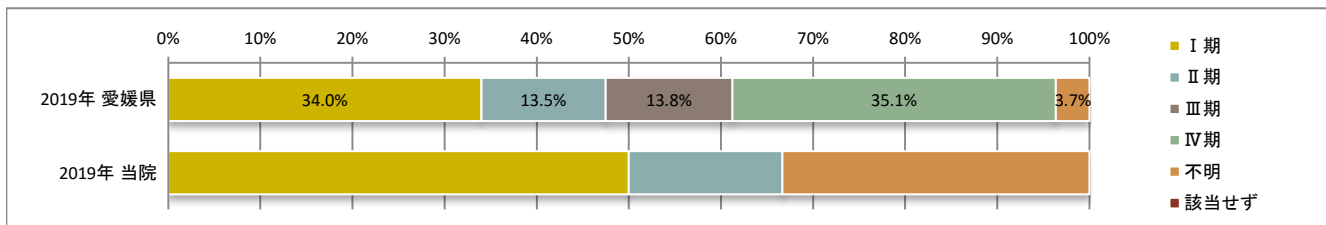
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	(7~9)	39.1%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	11	47.8%

8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

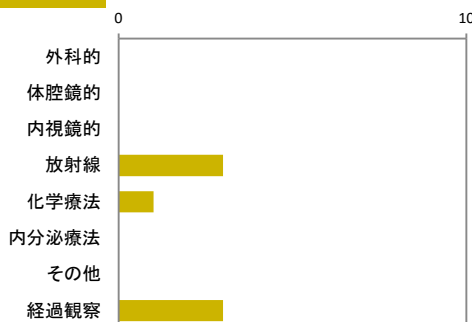
2019年	I 期	II 期	III 期	IV 期	不明	該当せず	合計
件数	(1~3)	(1~3)	0	0	(1~3)	0	(4~6)
割合	--	--	--	--	--	--	--



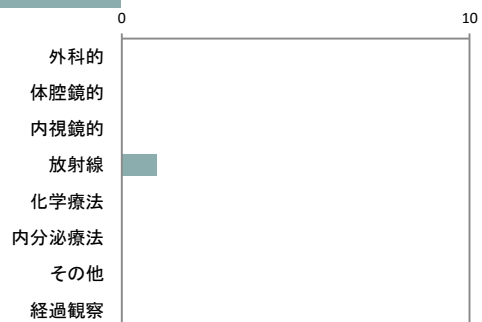
9. 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせで行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。

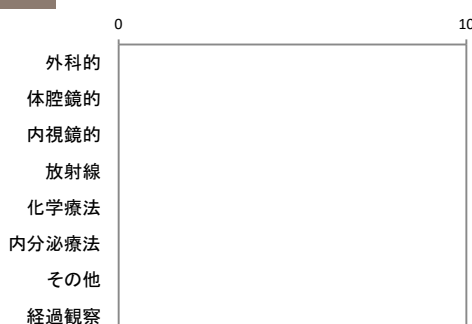
悪性リンパ腫



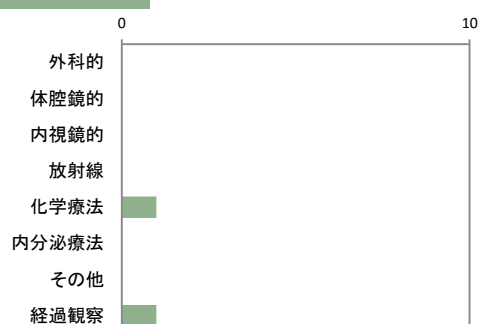
多発性骨髄腫



白血病



他の造血器腫瘍



説明ポイントの解説

説明ポイント①

2019 年は登録数が 824 件、2015 年より大きな増減はありません。

2019 年の登録数は、2018 年の 743 件より 81 件増加し 824 件でした。2015 年より過去 5 年間の登録数年次推移では、多少の増減を認めますが大きな変化はないようです。

登録数の年次推移（部位別）で確認すると、各部位が少数増加したことにより、2019 年は全体数が増加しています。大きな変化がないことより、当院のがん診療は変わりなく提供できているようです。

説明ポイント②

大腸 胃 肺 乳房 前立腺 膵臓は 2016 年より登録数が多い上位 6 部位です。

順序に変化はありますが、2016 年から 2019 年の 4 年間、部位別登録数上位 6 部位は、大腸 胃 肺 乳房 前立腺 膵臓です。愛媛県全体ではこの部位が 2018 年と 2019 年の上位 6 部位です。他のがん診療拠点病院の 2018 年上位 5 部位を確認すると、愛媛県全体と上位 5 部位が全く同じ施設は当院のみです。登録数が多い部位、つまり罹患の多い部位を診療しているのが当院の特徴のようです。

説明ポイント③

がんと診断した症例や自施設初回治療開始症例は、2017 年より登録数がほぼ同じです。

自施設でがんと診断した症例の年次推移、自施設初回治療開始症例の年次推移より、がんと診断する症例や初回治療開始症例は僅かに増加していますが、2017 年よりほぼ同じ登録数です。がんの診断や治療する体制は変わらないといえるようです。

説明ポイント④

自施設にて治療を開始する症例割合は愛媛県と比較すると低い。

「自施設責任症例」割合は愛媛県 81.2% に対し、当院は 70.0% と低く、「自施設責任症例以外の症例」割合は愛媛県 18.8% 当院 30.0% と高い割合です。

「自施設責任症例以外の症例」が多い要因として、当院ではリニアックやサイバーナイフを用いて、初回治療終了後の再発巣や転移巣へ放射線治療を行っています。緩和ケア病棟も有しているため、他施設より BSC 症例の紹介が多いことも考えられます。

他施設で初回治療として手術や薬物療法後に当院にて放射線治療を施行するため、『他施設診断・自施設初回治療継続』割合が高いのも特徴です。

説明ポイント⑤

2019 年の今治圏域は初めて 700 件を越える 725 件です。

当院の今治圏域登録数は 2017 年 661 件 2018 年 639 件 2019 年は 725 件で、初めて 700 件を越えました。愛媛県全体では 2019 年 今治圏域登録数は 1421 件です。当院以外の県内拠点・推進病院にて登録されている症例が多いことがわかります。診療科の有無、治療方法、患者さんによる希望等が関係していると考えられます。

自施設が所在する今治圏域と隣接する新居浜・西条圏域で全体の 95.8%を占めており、地域のがん診療連携拠点病院として地元に着しています。

説明ポイント⑥

70 歳代以上の登録数は増加傾向です。

60 歳代以下の登録数は 2015 年より大きな変化はなく推移しています。80 歳代は僅かに増加、70 歳代は 2018 年より 72 件増加しています。この 70 歳代以上の増加が、全体の登録数増加要因になっています。

70 歳代以上の占める割合は、2018 年に初めて 61.5%と 6 割を越えましたが、2019 年には 68.3%とさらに高くなっています。

説明ポイント⑦

『自主受診』割合が高い施設は、地域のがん診療連携拠点病院に見られる傾向です。

当院を受診する経路として、自主受診の年次推移に大きな変化はありませんが、登録数全体が増加したため割合は低下しています。自主受診 12.9%は愛媛県 11.3%より

高い割合です。当院のような二次医療圏に一つのがん診療連携拠点病院や推進病院では、地域内で受診できることから、自主受診割合は高く、松山医療圏の大規模病院は低い傾向があります。

説明ポイント⑧

『他施設紹介』で、登録数の多い部位は、大腸 肺 胃 乳房 膵臓です。

『他施設紹介』の多い部位は、大腸 肺 胃 乳房 膵臓です。これは、登録数の多い上位 6 部位の中に入っており、当院の診療体制が他施設に理解され、順調に連携が進んでいる結果と考えられます。